京城日報

本紙定價 一箇月金七十五錢 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

三月九日夕刊（朝夕併せて八頁）

第四十一回帝國議會 衆議院本會議（八日）
政府選擧法改正案通過 ＝與黨萬歲聲裡に散會＝

（朝刊より續く）齋藤隆夫氏（憲政）は前後二時間に亘りて政府案を攻擊するや松田源治氏（政友）之れに對して反駁を試み次いで西村丹治郎氏（國民）黨を代表し政府案（憲政）案を批評し自黨案を維持し殊に別表の攻擊に力を注ぐや武藤金吉氏（政友）若し本案に就き各黨の束縛を解き無記名投票させば各案に亘り別表原案贊成者大多數を占むべしと駁するや本田恒之氏（憲政）之れを難詰す次ぎに中西六三郎氏（政友）修正案に對する贊成意見を述べ右終るや村松恒一郎氏（國民）普通選擧論者を代表し政府憲國兩黨三案に對して批評を加へ次いで松本誠之氏（新政）政府案を支持し之れにて討論終結す夫れより小選擧區制に就き記名投票を以て採決するや無所屬新政會の多數は白票に加はり爲めに總投票數三百四十九票に對し六十一票の差を以て政府案可決さる次にの三黨案の決を採りたるに之れも亦六十一票の差にて政府案通過し夫れより憲國兩黨の智識階級を加ふるの案を起立に問ひたるに何れも少數にて否決爰に原案は政友會修正通り可決され與黨萬歲聲裡に午後八時五十五分散會せり（東京特電）

◇西班牙大騷亂

西班牙に產業上政治上の大騷亂起り秩序恢復の爲め議會は無期停會となれり就中バルセロナの形勢最も險惡にてレリダにては憲法の保障停止されたり尚政府の希望たるモロッコに關する重要問題は外國の商議に委ねらるべし（倫敦電報）

◇墺匈國救濟審議

五日發表＝本日の巴里會議は墺匈國の救濟を審議したる後黑山國委員は同國將來の形勢に就きニコラス王の爲め意見を提示したり（東京特電）

◇英船員遺族賠償

英國首相ロイドジョージ氏は本月四日英國各商船會社員にして戰時中死亡せる乘組員遺族に對する賠償に關する陳情に答へて曰く英國講和委員は第一に死亡者遺族に對する弔慰金を含む海上損失に對する十分なる賠償要求を提出すべく即時其要求を外務省に提出すべしと（倫敦電報）

◇四國參戰保障要求

七日午後英米佛伊四國公使は聯袂外交部を訪ひ參戰軍問題に就き日本が支那政府より保障を取りたると同樣の保障を得んことを要求せり（北京電報）

◇日支協約全部發表

總ての日支協約は愈近日中に發表せらるべく這は日本政府が一面支那に對する友情を明白にし他面世上の誤解を防ぐ爲めなりと尚巴里會議に提示せる昨年九月二十四日交換外交文書、參戰借款契約、軍器購入契約、軍事協定附屬條例も全部公表し以て和平會議を促進せしむべしと右發表は多分支那政府に於ても之を行ふべし（東京特電）

◇學位令決定

學位令は其の後種々の曲折を經たるが結局左の如く決定せり（東京特電）

（一）學位は官公私立大學にて授く但し文部大臣の認可を經ることを要す
（二）學位の種類は文相の認可を經各大學にて定む
（三）學位は大學各部研究科にて二年以上研究し論文提出審査に合格したる者又は論文を提出して學位を要求し大學にて之と同等以上の學力ありと認めたる者に對し授く
（四）文部大臣に對し認可申請の場合は論文並に其審査要旨を添ふ
（五）現在の博士は從前の名譽特權を有す
（六）博士會は廢止す
（七）帝大總長推薦の學位授與は廢止す
（八）學位を授けられたる者は一定期間中に論文を印刷公刊すべし

◇教調委員表彰

平田子久保田男陞爵か

臨時教育會議正副總裁平田子久保田男其他の功勞は他の政治上の功勞以上に認むるの要あり依つて今回教育調査會委員に對し何等か表彰の途を講ずべしとの說あり平田子、久保田男に對しては陞爵の恩命下るべしと（東京特電）

◇野口中將卒去

豫備役陸軍中將野口坤之氏は七日腎臟炎にて卒去せり（東京特電）

◇阪神定期米

八日後場に於ける大阪の定期米出來値は當附三十二圓二十六錢にして二十一錢を安値とし跡引相場けあり高値四十四錢止の四十三錢となり之れを前日の後場止めに比して二十六丁方の下落たり前場して後場立會は前場混亂の後を受けたる事て午後二時四十五分立會四時十五分の退けとなれり尚ほ神戸にては解合談行はれ午後四時を過ぐるも後場を立會せざりき（大阪特電）

◇東拓精米總會

豫て東拓支店に於て計畫中なりし鮮人救濟の主旨に成れる精米會社は十二日創立總會を開催の豫定なり（奉天特電）

◇陸軍記念日休業

十日の陸軍記念日には從來奉天各銀行業者は休業せざりしも奉天とては特に關係深きを以て本年よりは市民休業して祝意を表することゝせり（奉天特電）

◇椎名參謀來奉

豫て北方面視察中なりし都督府高級參謀椎名大佐堀田軍醫部長一行九日午後四時來奉の筈（奉天特電）

◎日本銀行總裁候補者

某大銀行重役談

三島子薨去後の日本銀行總裁は本紙東京特電により

△水町副總裁 の昇任說を傳ふる外井上準之助勝田主計目賀田種太郎早川千吉郎の諸氏を擧げ來れるが右に付某大銀行重役は曰く日本銀行總裁は財界の中心的地位たり從つて政黨政派に全く關係なき人物を選まざるべからず然りこて今日吾が財界に候補者を求むれば先づ前記の諸氏に指を屈するを適當とすべし水町氏は廿二年帝大の出身にして久しく大藏省にあり斯界の先輩たりその昇任は最も穩當なるべきが力量人物より見て果して如何の結果を見る乎早川千吉郎氏は

△三井家の柱石 たり然も幹手腕に於て不足なかるべきも氏が三井王國の人たる點に於て一部の反對說を出さずやと思ふ又早川氏を總裁とすれば權衡上水町副總裁は退任の外なけん又水町氏を總裁とし早川氏を副總裁とする如き事は到底早川氏の快とする所にあらざるべし從つて早川氏說は單なる想像にあらずや目賀田男は活力橫溢何かしたくて堪らぬやうな風あり西伯利拔助委員會の如きには喰ひ足らぬらしく手腕を八面に鋭鋒を向くる人として少からざる敵を有し又幸か不幸か俱樂部の驍將に付果して任に就き得べき乎

△勝田前藏相 は朝鮮銀行總裁たりし事あり財界に縱橫の手腕を有する人に付日銀が主動的營業方針を執るものとすれば最も佳なるべしと雖も現今の如き方針を以て進む外なしとせんか勝田氏を入るるも入れ榮へせざるべし又井上準之助氏は正金頭取として全力を盡し同行の經營に從事しつゝあり俄に離任を諾すべきか疑問なれど前例より見るも井上氏は最も多くの可能性を有する如し素より寺田井上兩氏の中に

△白面の矢 が立つものとすれば水町氏の退任を前提とせざるべからず勞如何なる經轢を見るべきか俄に逆睹し難し

◎留學生の行動に就て

總督府學務局長 關屋貞三郎氏談

東上中の朝鮮總督府學務局長關屋貞三郎氏は朝鮮留學生の不穩行動に就き左の如く語る

朝鮮留學生の一部が今回東京に於て青年の客氣に驅られ未熟の思想を以て不穩の行動に出で彼等攻學の目的に鑑みて頗る遺憾の結果を將來せるは痛嘆に堪へざるところなり蓋し彼等は今回の歐洲講和會議が直接此戰爭に關係せる獨立の國家民族の間に行はる・ものにして會議の內容が此の戰爭以前に遡るものに非ざるにも係はらず其會議の內容に用ゐられたる一二の文字に

△興味を喚起し 國際規條上到底不可能の目的のために輕擧妄動し彼等の現在及將來の福利を自ら傷けんとする行動に出たるは未だ世事の表裏道義の實情を理解せざるの致すところ也といへば彼等のために深く惜むところなり幸に內地當局が事に處する寬嚴宜しきを得大過なからしむるを得たるは彼等のために幸慶とせざる可らず元來內鮮の同化融合は內地人朝鮮人が世界の大勢の歸趨に鑑み唇齒相倚る永遠の福利を同じうする實情の下にその目的に精進して初めて成就せらるべき長年月を要する國民的事業にして一朝一夕にして成るものに非ざるは素よりながら偶々此種の

△無理解の妄動 あるは遺憾に堪へず要は內地人朝鮮人共に日本國民として世界に於けるその地位を自覺すること一層切なるを要はさるを得す日本國民たる朝鮮人はもとより支那人其他東洋の諸國民がその子弟を遠く日本內地に送り攻學せしむるの目的は彼等の個人としての德性の修養學藝の練達を希ふの外又日本が東洋に於て東洋諸國民の福利を計る上に現在及び將來如何なる地位に立つやを理解し新しき時勢を味得せしむるためなること疑ふ可らずされば內地に留學するこれら青年學生は最もその責任の重大なるを感じ鄕國の幸福なる新時代を形成する任に當るを意とし專心攻學研究す可きに事茲に出でずして中道にして

△身を誤るが如き は父兄の衷情に於ても忍びざる處なるべしまた內地に於ける我國民も更に一層の理解と同情とを之等の青年子弟のために有すべきは勿論にして之等後進青年子弟の誘掖宜しきを得堅實有爲の人格を練成せしむるは決して獨り政府のみの任ずるところにあらず廣く國民の人道的精神の發揮に待つこと大なるものあるを感ずるや切なり（東京支局）

◎定期市場混沌

仁川解合か

仁川定期米は八日後場休會十日前場より開始の筈なるも買方にて追證米納の者も少からず又氣配惡化の際立會へば直ちに暴落して又復二の追證を必要とする虞あり多額の日も休會するにあらずやとの說あり又一部中買の間に解合說を起し居れるが或は解合によりて買方は此の窮狀を脫せんとするに非るや唯賣り方は強硬なる者多きを漸く脫せんとする際とて容易に諾せざるべく尚ほ曲折を重ぬべしと觀測さる

◎定期米內氣配

一昨昂騰に次ぐに暴騰を持續したる期正米も一朝天井打ち模樣を呈する外內地各市場の大暴落に連れ慘澹たる大暴落を演じたり昨八日前場仁川市場に於ける先限は三十二圓九十錢と前日の最高値三十九圓十錢より實に六圓二十錢の大々的暴落であつたが流石に利喰ひの續出に支へ三十三圓丁度を以て放會し後場は帳簿整理の爲め休會したり然るに昨後場大阪相場は先限三十二圓六十八錢より二節七十九錢と暴四節更に二十一錢と瓦落し止めは四十四錢と返したる入電に接し東京、兵庫は未著であつた、斯る成行にて仁川市場の內氣配は大暴落の機先なる丈更に安人氣を唱へ居るも兎に角急轉直下の大暴落なりし丈或は此邊多少の反撥なしとせざる如きも果して如何、兎に角大波瀾を演じ居るの場合なる丈今後大いに注目を要する者あらん

△正米界 も期米同樣一時

◎電氣興業募株

十一日より十五日まで

東拓の川上理事等を中心とする朝鮮電氣興業株式會社の株式二十萬株中一萬五千株の募集は既報の如く十一日より十五日まで內鮮主要地に於て行ふべく株界氣勢昂進の際平和的事業として有望なれば好況を呈するならん尚ほ申込單位は十株にして證據金は一株に付二圓五十錢第一回拂込みは十五圓なり

◎客月鮮鐵成績

客月中に於ける鮮鐵營業收入概算に就き聞くに客車收入七十六萬九千圓、貨車收入六十一萬二千圓、運輸收入百三十八萬二千圓にして之を前年同期に比すれば京元線並に咸鏡線南部を除き他は何れも增加を示せり又附帶營業に於ては旅館收入一萬五千圓、食堂車收入三千八百圓、倉庫收入四千五百圓等を算し之亦前年同期に比し何れも增加を示したりと

◎元山移出牛數

昨年五月日本海橫斷航路開始以來同年十二月に至る八月間に於て元山港より敦賀及び下關に移出したる畜牛數牝五百五十五頭牡三十七頭計五百五十二頭此の價額三萬八千九百七十九圓五十錢にして內下關方面へは百三十頭一萬八十八圓十錢仕向地は主として阪神下關京都附近にて右は主として耕耘用の役牛を目的とし多くは犢牝牛を移出し少數な、牡成牛は肉用に供せらる、ものなりと

📖本期議會 鮮滿關係問答（十五）
朝鮮產支那產馬匹飼育獎勵（上）
＝衆議院豫算第四分科會にて＝

▲高木正年氏 朝鮮馬、支那馬の養成のことがありますが、私は多年希望して居る事で、委員會でも申上げたことであります、支那馬は日本馬より實地に堪へるのが良いのであります、今度新に之を施設せらるゝに付て、尚今後の御見込等も伺つて見たいと思ひます

▲政府委員（騎調仙助氏） 今度豫算に要求して居ります支那馬、朝鮮馬に付きましては、是が能力及飼養、管理等の方法に付て、十分研究する計畫を以ちまして、極く少數のものを騎兵の部隊に飼養することに致しました、將來支那馬、朝鮮馬を我軍隊に使用致しまする基礎を作る目的を以て、豫算を出しました……

▲高木正年氏 此日本の內地に配置する師團及其他の軍隊は、內地に置かればならぬと云ふよりは、或は兵の募集上の……私の考へでは騎兵の馬、駄馬は、或程度まで大陸に多く存して置くことが、輸送上の便利が良いと思ひます、駄馬は農業用の馬と相俟つのですが騎兵の馬の如きは各師團に多く置かずとも、**成るべく朝鮮其他に特設して置いて**、いざ事のあつた時分に、海を渡つて輸送することのないやうにすることは、出來ないものでありますか、總てとは申しませぬ、さう云ふ傾向を持たせることは如何でありますか

▲政府委員（山梨半造氏） 馬、駄馬を彼方に置いたら、どうかと云ふことでありますが、馬は人と關係を持つもので、人の居ります所に馬が居りませぬので、隨つて動員を致しまするとき、人は人、馬は馬、斯う云ふ工合に二箇所に動員することは困るのであります、人間が來て馬が漸次に集つて來ませぬと、馬の取扱に困る、でありますから、高定員即ち戰時に近い騎兵隊が出來まして、動員に關係のないと云ふやうな我國の騎兵隊が出來ますれば、之を滿洲、若くは朝鮮に置いても差支ありませぬが、低定員の部隊でありますから、動員の時には必ず人馬を伴れて往かなければなりませぬので、今の御注文事は出來兼ねます、併し**朝鮮に騎兵旅團を一つ作つて、高定員にして置くことならば、吾々も最も希望する所**でありますが、奈何せんまだ其運に達しませぬ

▲高木益太郎氏（法政） 先刻、軍馬の事に付きまして御質問がございましたが、それに付ては、どうも日本の馬は西伯利亞方面へ行つて斃れるものが多い、此滿洲、蒙古の方面に涉つて、大に一つ軍馬の養成を計畫してはどうでありませうか、成程若干豫算の上にも現れて居るやうでありますけれども、もう少し大々的に企てられてはどうであらうか、それに付ては或は奉天方面へ持つて行つて、產馬改良場でも設立して、蒙古との間の聯絡を圖ると云ふやうな事柄が必要ではないか、又今度の豫算案にも產馬獎勵費として、多少計畫も現れて居るやうでありますが。實際滿洲、蒙古西伯利方面に大兵を動かすには、鐵道の力なり、馬の力なり、それより外に人間の足で步く譯には行かぬのであります、攻擊をするにも、防禦をするにも、偵察をするにも、馬の力を藉りるのが最も必要ではないか、それに付て一日に一列車より發車しない、或は二列車より發車しないと云ふやうな鐵道であると思ふ、其利用も甚だ不十分であると思ふ、馬であれば、何時でも偵察其他の事に付て活動が出來るのであります、それ故滿洲、蒙古方面の產馬を獎勵すると云ふ事に付ては、確かりやらなければならぬだらうと思ひます、場合に依つては步兵も馬に乘せねばならぬと思ひます、彼の滿洲邊を鐵砲を擔いで步くのは如何かと思ひます、又場合に依つては、彼の附近に居る警察官、憲兵、或は又滿洲鐵道の吏員杯も——日本で先般一般官吏に向つて馬匹を置く義務を負はした如くに、南滿鐵道から俸給を貰つて居る者には一匹の馬を——地位の高い方に於て、一匹の馬を飼つて置くと云ふ義務を負はして置く方が宜からうかと思ひます、隨分「ベースボール」の球突をやつて居る、そんな事で一朝事があつたらどうなりますか、彼の地點には馬賊の襲來を受けることがあるのですから、此產馬の獎勵と云ふことは、國家の爲めに必要と思ひます、それであるから**奉天附近へ持つて行つて、滿洲蒙古馬の獎勵機關**を特設すると云ふことが、どうでありませうか、それからさう云ふ事で產馬が必要であるとすれば、進んで競馬を開催し、又場合に依つては、馬券の發行など云ふ意見を持つて居るか、是は少しく大きな問題であるから、直ちに御答辯を願はぬでも宜いのであります、馬券發行の可否如何と云ふことは、御協議を願つてからでも宜しうございますから、適當な機會に御意見を伺つて置きたいと思ひます（東京支局）

◎三島頭取東上

殖產銀行頭取三島太郎氏は十日午前八時四十分南大門驛發列車にて東上すべしと

◎松尾編輯局長出張 本社編輯局長松尾茂吉氏は社用を帶びて九日夜出發內地へ出張往復六日間の豫定なり

濠洲より（二）

松井元山稅關長寄信

◎關稅及び貿易商を訪問致し候處恰も貿易大臣は某疑獄事件に連坐の嫌疑を受け登廳せず次官は爲めに忙殺せられ十分談話を交換する暇無かりし事は遺憾に御座候貿易省の建物は案外粗末なるものにて當地の下宿屋の少しく大なるものの位に見受けられ候然し何と申しても全濠洲に號令する所にて次官の如き非常に多忙の樣に有之候總じて濠洲にては本省に限らず稅關に限らず他の役所又は會社等にても上官程仕事が忙しき樣に候之は日本邊と多少異なりたる趣に有之候然し其忙しき原因は自ら一々書類にサインする點にありと存じ候盲目判の代りに盲目書に候同じ盲目なれば判の方がサインよりも簡單にて結構に候此事をシドニー及びメルボルンの稅關にて話致し候處前者は苦笑し後者は賛成致し居り候何々

◎一體濠洲と申す處は面白き所にて約四百萬方哩の面積に五百萬の人口然も其半數は都會に集合し且一度郊外に至れば人家無く草茫々たる有樣にて更に中心に至れば沙漠にて其草すらなし要するに人は海岸に環列致し居り候而して東洋人の入國を絕對に拒み否獨り東洋人のみならず實際は一切他國人の入國を嫌惡し居り候其理由は人口の增加は在住民の生活上に苦痛を與ふるとの點より出發致し居り候大多數の人民は成る可く小時間働きて多くの快樂を得ん事に努め居り候其快樂とは酒場にて一杯の酒を呷り煙草をふかしながら只何の當てもなく市中を徘徊し知つた女の來れば共に手を攜へて散步し又戯くも一週一回は活動寫眞を見物することを以て快樂と致し居り候

◎勞働者の如き賃金は法律の力を以て定めそれ以下にては絕對に賃金を支拂はる・事無之候又大體に生活品に就ても價格は同樣法律にて定めあり即ち物價と勞銀が法律にて定めらるゝ之れ程結構な國は無之候

人事消息

▲福井氏次郎氏（新安州銀業家） 入城中の處九日夜發歸安
▲岡本常次郎氏（北鮮日報社長） 同上

八面鋒

◆米國上院に於て、ロッヂ君は國際聯盟を評して曰く、華盛頓の訓戒と、モンロー主義とを、減却するものなりと非難し、此の聯盟は平和の確保と謂はんよりも、寧ろ戰爭を助成するの結果を生ずべしと報告せり。

◆同ノックス君は、脫退の規定もなき聯盟に加入するは、國家を賣るものにして、即ち叛逆の行爲なりと喝破す。何れも面目躍如たり。

◆今回の講和會議を以て、世界は改良せられ、永久平和は確定し、世は一變して一大極樂を現出するかの如く思ふ者あらば、之れ針の穴より天を覗くに等しきもの也。

◆試みに思へ、文明と非文明との爭、優者と劣者の爭、生存と死滅の爭の絕えざる限り、其處に永久確定の平和ありや、戰爭の永久に消滅せざる處、即ち其處に存す。

◆千八百十四年の維也納公會の當時は、全く戰爭は根絕せられたるかの如く考へられたり。然るに千八百六十六年に普墺戰爭あり、千八百七十年に普佛戰爭あり而して千九百十四年の世界大戰を勃發したるに徵しても、明かなる事實に非ずや。

◆國際聯盟は理想に於て、各國共同一致したり。然れども一端利害問題となるや、各自其の利益を主張して容易に纏らず。假へば殖民處分問題にしても、各國の要求は最も露骨に、夫れぐ利害觀念の暴露を見る。此の一を推すも、以て各國の眞情を察するに足らん。

◆結局ウイルソン君迄が、軍備制限は到底期待すべき、問題に非ずと匙を投げ出せり。國際聯盟は、其の徒らに誇張的にして、實行の伴なはざる、大風呂敷たる事が、漸次尻尾を現はし來たれり、笑止千萬ならずや。

◆我特使國侯、長途悠々、五十餘日、漸く巴里に著し、初見參として、三日の五大國會議に、フォッシュ元帥と共に列席す。我に不利なる形勢を轉換して、新生面を開くべきは、蓋し國侯の意中ならんも國侯果して起死回生を如何に爲せんとするか。

謹告（書畫骨董滿鮮大會）

拜啓時下春暖の候に相向ひ候處貴家益々御隆盛の段奉大賀候陳て小生儀從來各位の御同情御引立を蒙り幸に家運進展こ併て健康を維持し恰も本年は還曆に相當致し候に付き聊か自祝を兼ね滿鮮書畫骨董大會相催候間萬障御繰合せ御出席被成下度此段御案內申上候

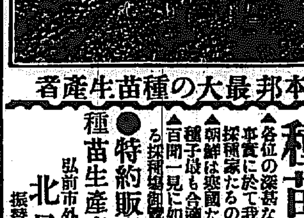
日時 三月十四日 十五日 十六日
會場 釜山辨天町 同 釜山大廳町
下見 守谷樓上 賣
吉田梅香堂 電話四八三番
後援者 釜山骨董會

本邦最大の種苗生產者

種苗目錄 呈送

▲各位の深甚なる御引立により事實に於て我國最も大なる採種家たるの光榮を得申候
▲朝鮮は寒國たる我が弘前產の種子最も合適致し居候
▲百聞一見に如かず我が廣大なる採種場御覽下され度候

●特約販賣店募集
種苗生產直輸出入業
弘前市外取上田町 北日本農園 振替東京一〇三六九番



本日午後一時近火の砌には早々御馳付被下御厚情奉萬謝候混雜中御尊名伺洩れも可有之不取敢以紙上御禮申上候
京城太平通二丁目 常盤商會朝鮮營業所 電話長五七六番

謹告

大正七年下半期間當取引所に於て貴殿の賣買高多額なりしは貴殿の信用特に厚きを知るに足る之に依て紀念の爲め茲に銀盃壹組を贈進し以て其成績を表彰す
大正七年十一月九日
株式會社東京株式取引所 理事長男爵 鄕誠之助 印
仲買人 村松諒殿

各位益々御精穆被爲涉候段慶賀至極に奉存候倍而弊店儀御蔭を以て逐日隆盛に趣き今回名譽ある褒賞に預り候事偏に顧客諸彥御引立の賚と奉深謝候尚今後一層勉勵御便宜を計り御高庇に酬ひ可申何卒引續御引立の程偏に奉懇願候 敬白
東京市日本橋區小網町二丁目
東京株式取引所仲買人 村松諒商店
○營業案內日報北御通知次第早速御送呈申上候

電球と乾電池 製造販賣 山陽電氣商會 京城黃金町

平和と生產の過剩!!! 物價大暴落 活動的商人!!! 金儲の最好機!!!
縣下獨專代理店支配人招聘 月收五拾圓以上貳百圓
物價暴落整理商品部の活動開始 內外社會的公共大事業
特約專賣店募集

◎重荷を卸した博邦公

九日朝歸東の途に就く 南大門驛の夥しい見送

『國葬が無事に濟んだので安心した』と

春雨そぼ降る九日の朝、伊藤公一行は歸東の途に就いた南大門驛プラットフォームでは山縣政務總監、兒島憲兵隊長、宇佐美内務部長官、芳賀總督府醫院長、國分李王職次官、李王職各課長其他官民多數の見送りを受け公は

▲焦茶色の 中折帽に黒毛皮襟の外套姿で一等室に納まる同室したのは岡田式部官、佐伯典、大木宮内書記官の諸氏及び見送りの末松李王職事務官兄弟、天眞樓主夫妻等で室内は至極打寛いである。公は同席の記者に對し國葬は萬事滑りなく濟んだので安心したと云ひ、すつかり

▲袴を脱い だやうな氣樂な快活な表情で同席の人々と雑談を交へ『近來名士の病氣や死亡が餘程多いね、私も京城に居る中に病氣見舞やら死亡の悔みやらの電報を十通餘り出しましたよ』『三島日銀總裁も其中の一人ですか』と問へば『さうです彼の人も至極

▲懇意な人 でしたが惜しいことをしました』『三島さんは小說『不如歸』の武夫のモデルだと云ひますがどうでせう』と記者の再質問に對しては公は『そんな噂もありますね』と笑ひに紛らす。

▲景色を眺 めながら『ほんとうな春雨だ』と歎賞したり『朝鮮の汽車は之が一番早いのか』など、惡口が出たりして重荷を卸して東京へ引上げる公の一行は車中成りに陽氣なものだつた

小川のほとり

◎澁澤男病む 肺炎を併發す

澁澤榮一男は過般來流行性感冒に罹り飛鳥山の自邸に於て療養中なるが五日夜俄然三十九度五分と云ふ高熱を呈し入澤博士の來診を乞ふに至りたるが六日朝は漸次下熱して三十八度九分を示し七日は異常なく體溫三十八度五分脈搏七十八呼吸二十一と云ふ症狀を保ち居れるが遂に肺炎に變じたること、て家人等は病床に詰切りて看護し非常に憂慮し居れり(東京特電)

◎捕獲艦 本邦に回航 解氷期を待ちて

帝國海軍にては解氷期を待ち西伯利出征騎兵隊の手にて捕獲せる露國商艦を本邦に廻航せしむる筈にて下流氷等にて艦底を破壞する危險あるより警戒中なるが解氷期に入り次第艦隊に同航せしむる爲め同方面ハバロウスク河の警備並に測量任務に從事する吃水淺き驅逐艦又は水雷艇を派遣せしむる事に決せるが此重大命令に接すべき艦艇は未だ確定せざるも昨今吳工廠にて大修理中の安達中佐指揮の第一水雷艇隊の六七、六八、七〇、七一の各水雷艇なるべく豫想されつゝあり該水雷艇は既に驅逐艇たるべきを二重船底の取付中なれば多分此特別任務に服する爲めならんと

◎慶應醫科教授の顏觸

慶應の醫科大學は來る四月の新學期から四谷信濃町の新校舍で七十名の本科一年生に授業を開始する事となつた主任者北島博士が人選して既に決定した教授の顏觸れは左の如し

▽解剖學 博士岡島敬治、金澤亨、學士岡本規矩男 ▽生理學 學士加藤元一、同久保總 ▽病理學 博士荻間成生學 博士 野六郎 ▽細菌學 博士志賀潔 ▽内科學 博士大谷彬亮 ▽外科學 博士茂木蔵之助 ▽產婦人科學 博士川添 道 ▽眼科學 博士菅沼定男 ▽小兒科學 博士唐澤光德 ▽レントゲン學 博士藤浪剛一 ▽寄生蟲科學 博士宮島幹之助

◎四疊半で廿三圓

高くなつた東京の下宿屋 知己の許に假寓するのが最も便利

此頃東京で中等以上の教育を受けるには何程の學費が要るか……先づ下宿屋に就いて調べて見る昨年頃四疊半に電燈や炭代を加へて月十四圓位の相場だつたのが此後漸次騰上けて此春には廿三、四圓と云ふ九割方の値上となり又比較的安價な

◆素人下宿 でも新陳代謝の度毎に値上を行るから下宿屋とほゞ同額に近し先づ平均の下宿料は一箇月廿三圓前後である之を中額にして其他へ授業料や、制服、外套その他を加へると四百三圓で若し學校を三箇年で卒業と限定すれば千二百九圓の學資が必要である之は非常に消極的な勘定だから若し其學生が參考書を撰り好んだり又

◆靴を二足 も新調するなど云ふ場合には勿論此豫算を超過する譯である之に就いて早稻田大學は現社豫科で五百五圓を標準と定め其他の各私立大學も殆ど同額の見積だが修業年限が長期なので最低二千圓は要る一方官立の學校は萬事が行屆いてるのと專門學校なぞは修學期が短い爲比較的小額で濟むが

◆帝大に進 めば相當な交際費もかゝるから月卅五六圓の下宿料を支拂ひ一箇年千七八百圓の學費は普通だと云ふで地方の遊學生は出來るだけ郷里の寄宿舍か又は親戚知己の許へ假寓して通學するのが便利な方法である

◎平壤各學校 概して靜穩

騷擾事件につき平壤に於ける鮮人學校の狀況左の如し

▲高等普通學校 一日午後放課後上級生中不良團體に加はりたるものもありたるが寄宿生中には一人も同團體に加はるものなく二日運動開中の通學生脅迫又は煽動の目的を以て寄宿舍に押掛けたるものありしが頑として應ぜず舍内二三學生中には該團體に加はる事の不可なることを說述するものさへありたるも四日に至りて團員の脅迫益甚だしきより遂に一先づ歸郷方を校長に出願するに至りたるが田中校長も此際強て之を抑留するは不可なりとし一時歸郷を許し隨時歸校すべき樣諭示したり三日同校は李太王國葬日につき一同生徒を召集して遙拜式を擧行せんとせしも當日の出席者は極めて少く殆ど寄宿生のみにて擧行したり同日も同樣にて止むなく一時休校することゝなりたるが一旦歸郷したる寄宿生は七日より續々歸校しつゝあり十日より開校の筈なりと因に歸校せる寄宿生等は平常と何等變りたることなく中には舍内の樂器を使用して音樂の練習等を爲せるものさへありて至極平和なり

▲女子高等普通 不良鮮人の爲め煽動されたる生徒は群集に加はりて同樣の行動を取りたるものあり男子高等普通學校同樣登校せざるものも少からざりしが全然休校したるは二日間位にして出席者僅少なるも授業しつゝあるが八日に至り半數位は出席し居れり因に同校寄宿生中四十餘名は事件勃發以來歸舍せず四日平壤署に引致取調諭示の上一名の主謀者を拘留し他は皆歸舍せしむることゝしたるが騷擾後は一時歸宅せしむるを此際良策とし各自歸宅せしめたるが追々歸校徒則の通り授業を受け居れりと偕同校寄宿生中外部より煽動又は脅迫を受けたるも中には頑として應ぜず舍内生徒に對し其不可なるを說きたるものさへありたりと

▲第一普通學校 事件勃發以來登校者少かりしが這は不良學生の爲め通學途中を阻まれて登校し得ざるに至りたるもの多く七日より殆んど平常に復せりと

▲第二普通學校 第一校と同樣にて一時休校の狀態なりしも他校に比しては成績よく開校も一兩日早かりしと

▲女子普通學校 第一第二校と同樣の狀態なりしも之亦目下殆んど舊に復し何等異狀なし

▲各私立學校 平壤に於ける本事件の中心とも云ふべき各宗教私立學校は今尚開校せず

◎奉天寒氣强し 降雪を催す

先月十日頃より氣温頗りに昂騰し明治四十三年以來の温度を示し一帶は漸次解氷せんとする形勢なりしが八日午前七時より降雪ありて次第に氣温低下し八日は朝來寒氣猛烈に盛返し午後二時の觀測に依れば零下五度を示すに至り四時頃には市街道路再び凍結寒氣次第に加はりつゝあり(奉天特電)

◎西本法主に武子の方を据んとの說

九條男爵夫人武子の方(?)は現に其宗婦人會長として時々地方を巡回し講演に布教に其宗の安心立命を宣傳しつゝあるが

△一方本山 では前法主光瑞師退職後は兎角思はしからず本山に對する信仰も漸く薄れ行く傾向なので當局者等は種々苦心の結果遂には前法主復職を策したもの、未だ順調に運ばないそこで止むなく幼主瑞伯を早く得度させることなつたもの、未だ小學在學中の幼當長は徒らに空名のみで經綸的信仰の中心人物として宗派の發展を見る事

△不可能で はあるし又將來照伯の勉學上にも面白くないと云ふ心配もある矢先に武子夫人は幸ひに光瑞師の令妹で西本願寺の血統上正しいので一旦九條家から大谷家へ引戻して所謂中繼ぎの法主に据ゑやうとまで進んだやうな奇說が出て昨今内密に研究相談中だ

◎妄動大邱に波及す

高普生徒多數を占む

八日午後三時當地に暴動起る其の數約八九百にして高等普通學生多數を占め市場に集合萬歲を唱へ市中に繰込みしを豫て期したる當局は直ちに解散せしめ首謀者外多數を捕縛したるが形勢尚は不穩なり(大邱特電)

▼首謀者外二百名檢擧 大邱騷擾其後

八日午後三時より大邱に騷擾起りし事は取敢ず電報したる如くなるが此等が騷擾を企て居りし事は當局に於て夙に探知し七日夜首謀者なる白南鐸及び李萬集を逮捕すると共に嚴重に警戒し居たるに八日に至り高等普通學校生徒は重ねて放課後の目的にて遂に公園に集合すべく

◇韓國國旗 を先頭に押し樹て漸次西門市場に向ひたるが途中其他の私立學校生徒等も參加したるが警戒中の騎馬憲兵に遮られし爲めに目的地に入る能はず韓國獨立萬歲を稱へて其儘引返し本町通りを進行せり其數約一千名一方には信明女學校生徒

◇別働隊と して繰出し待ち構へたる官憲は共に之を遮り解散せしめ主謀者及び男女學生の重なる者約五十名を捕縛引致し尚引續き活動を開始したる結果約二百名を檢擧したり此騷擾にて妄動聯中に六七名の

◇負傷者を 出したるも他は全部無事なるを得たるが當局に於ては尚萬一を慮かり八十聯隊に對し巡察隊の増派を請ひ嚴重なる警戒を加へつゝあり(大邱)

京畿道

開城 七日朝附近部落より約七百名の群衆運動騷擾の爲め密に開城に入込みたる形跡あり嚴重警戒中なるが附近二三箇所に於て萬歲を唱へしのみにて騷擾なし

始興 七日午前十一時過ぎ普通學校生徒全部同盟休校を爲し萬歲を唱へ退散せしを以て首謀者五名を引致し嚴重に說諭を加へしに深く前非を悔い翌日より出校すべき旨を誓へり

▽頑強に抵抗す 暴民五千襲來

平安北道

鐵山 七日正午暴民約五千邑内に襲來し舊韓國旗を押立て、市内を練り歩き郵便所に投石し暴行を働き殊に暴民中には兇器を携へたる者あり頑強に抵抗せしに依り警備の步兵は空砲を發射し威嚇せしも頑として益々暴行を逞しうせしを以て止むなく發砲退散せしむ暴民中即死三負傷二十名を出し首謀者を逮捕取調中

龍川 六日南市に於て約二百名の集團舊韓國旗を押し立て萬歲を高唱し解散せしが首謀者六名逮捕さる

平安南道

船橋 六日船橋大平洞の一部は全戸に舊韓國旗を揭げ汽車の通過每に萬歲を唱へ投石すとの報道ありしを以て七日憲兵を派遣し首謀者五名を逮捕し韓國旗を押收し取調中

龍岡 六日温井附近に暴民約四十名集合し警察官を發見し解散を命ぜしも應ぜず暴力を以て反抗するより鎭壓に向ひたる步兵は發砲し退散せしめたり爲めに暴民側に死者一名負傷一名を生ぜり

寧邊 七日朝寧邊に天道教徒卅五名舊韓國旗を携へ邑内を練り廻りしを以て首謀者は分隊に於て引致取調中

德川 七日午後一時頃約六百名の群集運動を開始せしを以て解散を命じ首謀者四十名を檢擧せり

平原 七日午後九時頃黑波隱道上に於て約二千名の群集は篝火を焚き不穩の形勢ありしを以て隧道の保護を爲し警戒中なり

黄海道

遂安 六日石達憲兵駐在所に於て獨立宣言書を發見せしが翌七日天道教徒約四十名駐在所に來襲せんとの企を發見說諭を加へ退散せしむ

咸鏡南道

定平 七日午後四時耶蘇教徒十三名(中女二名)舊韓國旗を打振り市場の群集を煽動せしを以て直ちに逮捕したるが更に八時頃に至り二百名の群集は郡廳及び分遣所に押し寄せ萬歲を唱へたるを以て直ちに退散せしめたり

咸興 七日夜來無事なるも咸興北方三里の東上里市場に約百五十名の群集萬歲を唱へ居たるが直ちに退散せしめたり

◎潛水艇隊の内海巡航 各寄港地にて觀覽させる筈

吳鎭守府第十三潛水艇隊は四月一日吳を發し瀬戸内海を無航訓練の途に就くべきが九日神戸十一日大阪に入港し和歌浦其他を經て十五日高松に揚り廣島に寄港し十八日歸港の豫定なるが同艇は寄港地にては一般地方民に觀覽せしむべしと

毎週ポンチ 池部鈞 助太郎

◇忠實なる番犬が羊の牧場の番をして居るさうの日永の温さにツイうとうとと居眠りをした何處からともなく鋒利な角の被り黒い裾長の法衣を著た狼がやつて來て『コレコレ小羊よおまへの處の番犬は實に恐ろしい奴だ、おまへ方が大きくなると皆食つて了ふのだ』

◇小羊の一番に此の有樣を聞いて非常に驚くと彼の狼が『ヨシヨシおれがおまへ方を安全な處に伴れて行く、此穴から外に出ておいで』と云ふ

◇小羊共は喜んでぞろぞろと狼の破つてくれた穴から出て狼の後について行く程道からの小山の陰まで行くと、其處に待構へて居た多數の狼が飛び出して小羊共を捕まへた

◇犬は小羊の叫び聲にフト目を覺し驚いて飛び行くと小羊は悉く殘らず食はれて了つて居た

□春の丸帶 大分春めいて來た、外出の機會が多くなる、一寸訪問するにしても目につくのは帶と云ふ手前である、今年大概染に絞りに刺繍と云ふ處で其處に種々な匠が凝されてゐる

◎太平通の火事

損害二千餘圓 火元は支那人の家

九日午後一時半府内太平通二丁目三百十七番地支那人大工職戰有元方より發火し煉瓦建一棟を全燒せしが發火の原因は同人不在中の出來事とて判明せず損害約二千四百圓なりと

セルとネル

段々セルとネルの時候になつて來た セルは今まで茶の全盛であつたか今春は何でも色合が大分淡くなる、柄も從來は縦縞が多かつたけれども今年のは餘り縦縞でもち切つてゐる、一般に横物は受けなかつた傾向から悟うなつて來た さうして縞色も鳩羽とか銀茶とかグリーンなど流行しある、從來はぼんやりしたものが好ばれたが、今年は反對に縞柄のはつきりしたもの、詰り一般の趣味が明るい物に向いて來た、次にネルは昨年の流行の納戸色は稍すたり氣味で今年は薄い分黒ずんだもので一體に派手なのが流行る色合は樺の薄いものが新らしい流行が見ろ、又反物として鼠とか鼠の濃いものも出ろ、縞柄は淡紅色とか鶯茶とかグリーンの和色を使つたものが高價である、柄がセルよりはずつと荒くなる、變り色として肉色のもある

◎長春の初雨

五日夜來薄曇りし空合は六日朝に至りて漆く降雨を見せたり本年の初雨なるが其後も格別寒氣の加はる樣子も無く稀有の温暖は如何にも真の氣候らしく春の如き心地したりき

◎漁船五隻顛覆

三日慶北迎日郡九龍浦より出漁せし漁船五艘乘組人(内地人二十八人朝鮮人二十八人)は燈臺沖に於て漁業中午後十時頃より暴風起り浦項に避難せんとせしに暗夜の爲め方向を誤り淺瀨に乘り上げ顛覆せるも幸ひ死傷なかりしも風浪の爲め船具其他全部を流失し損害約二千八百圓に上れり(大邱)

◎岩田氏開業

龍山第十九師團軍醫部長たりし岩田軍醫正は今般職を辭し九日より京城長谷川町鐵冷泉前に開業す氏は朴直にして何等世辭なきも情に深く治療に極めて熱心にして從來各任地に於て研究所を設け隊兵治療の餘暇一般市民の診療に從事し殊に内外科に渉り多年の經驗に富み實地醫家として定評あり

灯ともし頃

▲蘆花氏の小說『不如歸』のヒロイン浪さんは、故大山公の愛孃信子さんをモデルにしたものだと云ふ事は殆んど隱れなき事實であるが▲其信子の浪さんが、砂白き逗子の濱邊で『私死んでも貴郎の妻ですわねえ』と熱烈なる戀情を告白した相手の男即ち川島武男は、一兩日前物故した三島彌太郎子をモデルにしたものである▲とは某消息通のはなし

通信要話

…到底一度に處し得べきものでないので便手數の少からざる場合がありますから此相互の手數を減じ不便を除する爲めの時勢に適したる必要の設備と申すべきで…向があるやうであるが甲の家の配達の遲延は延いて乙、丙、丁等の遲延を招き多くの受取人に…む次第である

三月十一日

少雨後曇

謹告 近火御見舞 京城西小門町 田中丸病院 田中丸治平 上野和夫

近火の際は早速御馳付被下御厚情奉深謝候混雜中御尊名伺漏れ有之哉も難計候不取敢以紙上御禮申上候 京城太平通二丁目 向井時計店 電話一四二五番

謹告 近火御見舞 京城太平通二丁目 淺見製材合資會社 京城支店

謹告 近火御見舞 京城太平通二丁目 上海 伊藤商行 京城支店

謹告 近火御見舞 京城太平通二丁目 日本醬油株式會社 京城出張所

謹告 近火御見舞 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二五八番

謹告 近火御見舞 京城太平通二丁目 片山内科醫院 電話一九五二番

謹告 近火御見舞 京城太平通二丁目 煉瓦建築請負業 新井爲三郎 電話六五六番

本日近火の砌には早々御馳付被下御陰を以て何等損害無之御厚情深く御禮申上候混雜の際御尊名伺洩れも可有之乍略儀以紙上御禮申上候 京城太平通一ノ三〇八 建築請負業 三宅長吉 電話二五六三番

謹告 近火御見舞 京城太平通二丁目 西崎商會 西崎源太郎 電話長七二七番

謹告 近火御見舞 京城太平通二の二九〇 酒醬油商 島田八郎

謹告 近火御見舞 京城太平町二丁目 大氣堂

開業廣告 安東縣三番通り五丁目一番地 鐵道貨物運送業 ㊂三河運輸公司 電話一二八番 電略マルミ 右運送業開業致候間多少に不拘御用命の程奉願上候

二十割の大利益あるかねもうけ 十圓か二十圓あれば其資金の二十割位利益ある好事業あり、新發明の營業で活動次第急速に成功す、全國各地何人にも副業本業に適す、但し山師的の物にあらず非常に有望の永久的営業也今直ぐハガキで御申込次第詳細說明書進呈す 東京市下谷區初音町三丁目九番地 東京化工研究會

丈夫で安い實用靴 ボックス革製 馬乘用 本長靴 半靴 編上 深ゴム 御注文の節は足の寸法御記入の事 東京牛込 御用達 ツグク靴店 振替東京四〇八四番

◎看護婦生募集 出願期日 大正八年三月廿日 試驗期日 大正八年三月廿日 入學期日 大正八年四月一日 右の外詳細は當院に問合あれ 朝鮮總督府指定 助產婦看護婦養成所 龍山鐵道病院

大正式製繩機 實驗用大製繩機は事業的に最も有利にして二十種の製品を自在に製造し說明書進呈 東京本所長崎町三日本 ランプ製造器具 バリカン機 定價表進呈

定價表御一報進呈 其他學校器具一切 三角艷消塗板 三角兒童机卓 山崎擊劍道具 各位の御高評を仰ぎたき 中學校高等學校器 監獄武德會御用 福岡市大名町東通一ノ六四 三角商會

春の風引には 大學病院 模範方劑 解熱 兒 全劑 カゼピリン 東京 KAZEPIRIN 本舗 東京市日本橋區本町 淺野樂天堂藥局 鮮滿無比の特約店にて販賣す

▲債券▼ ◎三月當籤番號 公債契約之分 一等 四一三二番 二等 一三三番 大連市西通二丁目廿一番地 大連債券株式會社 電話長一二五四番 振替大連一二〇〇番 債券契約之分 一等 二三九番 二等 二六八番 二八八番 ▲債券▼

◆郵便受函（郵便物の配達）は各地の状況に通曉し起床時刻より就眠時刻迄の間に於て爲すを以て原則とするけれど各戸の起床時間の如きは全然既に就眠せるものありいくら郵便と連呼しても容易に起きて來ない已むなく持戻るといふ次第で郵便配達上相互不便を感ずる事が多いのであるから…に配置にせられたいものであります此事は獨り配達人の勞を少くするのみでない受取人自身が多大の利便を受けらるゝこととなるのであるは郵便と連呼しても出て來られなかつたり又書留配達證小包の如き受取證印を要するものに印を容易に押さないやうな事を兼指いて直出て來られて郵便物を受取の文書も成るべく早く押すやうに勵行せられむことを望む

哈爾賓見聞録

奉天　老先生

保存と記念

伊藤公・沖横川氏等の遺蹟

◇今度は方角を替て内地人側の或近の出來事に就いて少し許り書いて見様と思ふ、之は別に新しい問題ではないが哈爾賓としては重大な問題であり又北進を以て生命とする朝鮮や滿洲では決して粗略にならぬのみならず日本として等閑に附すべからざる問題である

◇それは沖、横川其他の志士及び明治四十二年十月廿六日哈爾賓驛頭で悲壯な最期を遂げた伊藤公等に附いての問題である、恰度私が哈爾賓へ着いた日に以上の件に就いて居留民會が開かれると云ふ事であつた、で其の後の模樣を聞くと哈爾賓の人士は重大問題として熱心に凝議してゐる模樣である

◇其の凝議の動機と云ふのは嚮に日露戰爭の際沖、横川兩志士始め其他の志士が日露戰爭の際特別任務を帶びて敵地深く潜入し非常の將に成らんとする際不幸敵手に落ち哈爾賓原頭の露と消えたが爾來幾星霜志士の血で染つた地は其のまゝに打ち捨てられてゐた、處が昨年内留大使館國の際と最近我軍が同地駐在する樣になつた時と兩度多少の施設をなし其の昔を偲ぶ事が出來る樣にはした者の決して是れが永久に傳へられるものでもなく又其の土地が全く日本の自由意志に依て左右される者でもなかつた

◇それ故軍隊側は是非是れを永久に殘される樣にしたいと云ふ希望から露國側と種々交渉の結果遂に五十サージャン平方か六十サージャントか兎に角幾何かの土地を讓つて貰ふ事に決定したに就ては軍隊が勝手に其處へ何か造る譯にも行かないから居留民と協同でと言つて居留民會へ交渉を開始したのが抑もの初めだと云ふ事である此の交渉を受けた居留民會では一も二もなく贊意を表した、勿論之れは非公式ではあるが其れと同時に哈爾賓としては伊藤公を忘れる事は絶對に出來ない今迄も是れに關しては種々の經緯があつたが今日の如く哈爾賓も居住者が增加し時代も變化して來たから是非共公を記念するものを是非欲しい、だから一層の事、兩方を一纏めにしてやつてはと云ふので會議が開かれたのである

◇其の内軍隊側の希望としては元來移動性を持つてゐる軍隊の事であるから可成ならば餘り評議や什事に手間取つてはドウもならぬ、早く一決し早く竣工し而も永久に記念し得べき營造物が欲しいと云ふ希望であつたので會議は至急に開かれ軍隊側も監督官廳たる領事館も又新聞社の有志なども皆集まつて議が相談されたのである

慶北の養蠶業

急速に發展せし

◇製絲　慶北に於ける製絲は數倍し桑は十五倍　慶北に於ける製絲業は著しく發達をなし前年に比し約數倍以上の製造高を示せり即ち大正七年度に於ける製造者數一萬八千四百四十二にして生産額一萬一千六百卅貫匁を製出せり因に専門的斯業に從事するは大邱山十組のみにて其他は何れも個人經營とす

◇桑樹　近時慶北に於ける蠶業の發達の著しきは衆目の知るところなるが今其の大正七年度に於ける各郡の桑苗植付數を調査するに生産者數九百二十三にして植付本數實生苗木一千二百七十八萬九千三十九本にして前年度の植付數に比較する時は生産者數に於て七百二十八實生苗木數九十萬九千八百五十本接木苗木六百四十九萬五千三百本接木苗木三百四十八萬二千四百二十四本を增加せり

◇蠶紙　慶北各郡に於ける大正七年度の蠶紙製造に係る本格蠶種及び普通種等合計春蠶三萬九千四百二枚秋蠶一萬九千五百九

美湖川工事

十ヶ年計劃

忠清北道に於ける美湖川流域の砂防工事並に栽植事業は十ヶ年計畫の下に愈三月十日鍬初めに着手すべしと而して先づ本年中の事業として砂防工事は關係郡たる淸州郡の百五町歩槐山郡の十三町八反歩陰城郡の二町四反歩鎭川郡の二十町五反歩を手初めに栽植は淸州の二千三百三十四町鎭川の二千四百二十一町槐山の六百八十二町陰城九百八十四町歩合計五千三百七十九町歩にして樹植種類は黒松山石楊栗櫟落葉松三椏ニセアカシヤの七種にて道苗圃にて育成したるものなりと

◎道路改修(春川)　春川より原州に至る二十三里間の二等道路の工事は昨年以來著々進捗したるが該線路中最も難工事たる延長三里一丁餘外橋梁架設十一箇所暗渠百六十箇所其他暗渠新設百三十六箇所を總督府の直營として工事中なりしが本工事は豫定の通り工費十一萬五千三百餘圓を投じ極力工事の進捗に努めつゝあるを以て遲くも六月中には工事竣功の豫定なり本道路竣功するに於ては之と略同時に同線夫役施行區域も完成の筈なるを以て全線開通の上は春川金化間本府委託工事にして村上九八郎請負工事の完成を俟つて地方の發展に資する事尠少ならざるものならんと思料す更に春川原州間自動車運轉方を當局に最早二三名の願出ある由なれば遲くとも七月中に到らば春川原州間は自動車の定期運轉を見るに至るべし

◎江原道と莨(春川)　江原道春川淮陽金化原州外八郡は道内に於て從來葉煙草の耕作に適し品質良好にして且何れも相當の産額を有し他地方と稍移出を爲し來りたるが葉煙草の需要增加と共に近來著しく價格昂騰し他の農作物に比し有利なるを以て大正八年度以降漸次他の作物に代へ葉煙草の耕作を奬勵せむとす依つて土壤種子等に關し詳細調査を遂げ耕作地域に關する年次計劃を確立せり即ち大正七年度の實跡は本道に於ける葉煙草耕作面積二〇四六二反生産額五一、七五〇貫に過ぎざるも大正十年度に於ては耕作面積九、九四二五反生産額二、一三三、八七九貫とする計畫なり

申込殺到＝締切日近し

德壽宮國葬畫帖

豫約部數　二千部限

此の好期を逸する勿れ、此の好記念物を忘るゝ勿れ、締切期日切迫す、躊躇せば最早手に入らざるべし。官衙、會社其他の團體より申込續々。地方の諸君！諸君は朝鮮空前の國葬儀を見たりや。歴史家よ、諸君は此の德壽宮畫錄を以て花の如き文字なりとせずや。

定價　特製一冊　金參圓五拾錢　上製　同金貳圓五拾錢　(特製唐本仕立帙表紙箱入片面摺)(上製唐本仕立帙表紙箱入兩面摺)

豫約價　特製一冊　金三圓　上製　同金貳圓

豫約方法　極上等アイボリー紙五十枚以上、上製は其半數　寫眞銅版畫百個以上　申込期日大正八年三月十五日限り期日經過後は原價に復し販賣するも餘分は頗少に付成るべく豫約せらるゝことを望む豫約部數二千部　申込の際豫約金として特製は金貳圓上製は金壹圓五拾錢御送附を乞ふ

發送方法　京城市内は送料無料地方は特製上製共一冊十八錢とし豫約者の負擔とす　製本は三月末日以後申込順序に據り引換小包郵便にて發送す

發行所　京城日報社

◎瓦電拂込(釜山)　朝鮮瓦斯電氣會社にては今回の總會に於て六月末日迄に一株五圓の拂込を可決せり之れ同社六萬株に對し三十萬圓に相當する譯にて同拂込は擴張充實事業の刷新を圖らん爲みに今後大いに同社の面目を改め以て擴張後に於て利益を擧げ而して又々拂込みを爲す方針なり

◎蜂(平北)　最近調査に依る平北道の養蜂状況左の如し　飼育戸數(九千百七十六戸)▲巢箱數(二萬七千八百七十八個)▲蜂蜜産額(數量一一七四九、價格四〇、〇〇三圓一八〇)▲蜜蠟産額(數量九、四七七、價格六、二二四圓六五〇)

◎吉會測量隊　新田技師の率ゐる吉會線鐵道測量隊一行廿三名は遲くも十日までに間島龍井に着すべしと(間島)

◎安東縣附近の産米　安東縣附近に於る米産額状況に就きて聞くに主要産地には安奉沿線五龍背湯山城哈蟆塘鳳凰城及鴨綠江域九連城大東溝地方にて前記各地方産額は水稻白米三萬二千石粟稻白米一萬石餘合計四萬五千石見當にして其大部分は安東の粉の他みならず奥地に輸送されつゝあるが之等産米の精米當業者達は現在廣商會三省洋行日東洋行大東岡田田中各精米所西播洋行勝武洋行等八箇所に達し一日各精米所平均七十石の産米能力あり内日東洋行大東精米所は休業せるを以て約四百二十石の精米を見る次第なるが前記地方の米作も年々著しき增加を示し來り安東縣精米界の將來も奥地邦人の激增に隨伴し洋々たる前途を有すと云ふ可し(安東)

◎夥しき堆貨(撫順)　撫順驛には今や解氷を前にして本年暖氣は例年より約一箇月早きを以て奥地より搬出せる大豆毎日二十貨車位に及べるが撫順驛の輸送一日漸く八九車乃至十車位なれば目下の堆貨は約三萬三千餘噸に達し居れり本年度大豆の輸送の完了は早くも九月末なるべしと云ふ

◆日がのびた◆　段々暖かになると共に是から追々日が伸びて十日の日の出は京城時刻で午前六時五十四分、日の入が午後六時三十五分で來る二十二日の春分には晝の時間が十二時間と三十分、夜の時間が十一時間と五十分でモウ夜より晝の時間が多くなるのである。

慶南と蠶業……奬勵方針

(一)技術官合同席上に於ける訓示及び指示注意事項

慶南道長官の訓示

慶南道に於ける佐々木道長官の技術官會同の席上に於ける訓示及び指示注意事項左の如し

今回各位を召集し蠶業の状況を聽取し得たるは深く本官の欣幸とする所なり近時本道蠶業の發達顯著なるものあるは直接指導の任に當れる各位の熱心努力の勞、俟つ所大なりと雖も尚ほ所期の効果を擧げむは前途頗る遼遠なりと謂ふべし

今や朝鮮に於ける蠶業は生絲の將來に於て將た新品種の普及に於て大に其地位を高め來れり此時に方り蠶業風土並に地理的位置の關係上斯業の將來に多大の望を有する本道は最善の方法と一段の努力とに依り更に充分なる成績を收め以て世運の要求に對應せざるべからず是れ深く各位の熱誠發揮を期待する所以なり

蠶業の奬勵は管内全般に亘り普遍的に之れを行ひ適當なるを期するは勿論なりと雖も特に將地ある部落又は篤農家に對しては周密なる指導奬勵を加へ良好なる成績を擧げしめ以て直接又は間接に一般養蠶家の指導者たらしむること留意すべし本道蠶業の奬勵計畫は近く之を設定すべし各位は宜しく其方針を了得し以て計畫を設定せる趣旨の徹底を期し且其實績の擧揚に努力せむことを要す

尚終に臨て一言を附加せむとす各位は常に交通不便なる山里に出入し淳朴なる農民に對し其職務を樂しむにあらずむば動もすれば其職務を完うし難き境遇に在り故に常に此點に注意し特に研究と修養とを怠ることなく益斯道の爲め貢獻せむことを期すべし

指示事項

(一)奬勵方針　本道の蠶業は施政當時其産繭額僅に四百二十石に過ぎざりしも爾來勸奬の結果今や六千二百九十四石を算し顯著なる發達をなしたりと雖も未だ所期の目的を達するに至らず茲に更に奬勵計畫を樹て積極的勸奬に努めむとす各位は能く此精神の存する所を了得し地方の實況を參酌し之れが實行を期す可し

(二)桑樹栽植　桑園の改良增殖及び桑樹の肥培管理に關しては各郡共鋭意勸奬に怠りなしと雖も尚期待に副はざるものあるは遺憾とす依りて此際一層の努力をなし以て良好の成績を擧げむ事を期すべし

(三)桑園臺帳　桑園臺帳は各郡既に之を設備し之れに依りて桑園の消長を知り蠶種の掃立數と桑葉の供給に均衡を保たしめむとするも其多くは單に區長、面長の口述により想像上の數字を列べたるに過ぎざるが如し甚だ遺憾なりとす此際實地に就き最も精密なる調査を遂げ正確完備せる臺帳の作製をなし蠶業施設の基本資料となすと共に其指導奬勵に便すべし

(四)新奬勵品種　新奬勵品種の普及に關しては屢々通牒及び指示する所あり尚近く發表すべき勸業奬勵計畫にも其奬勵方針を定めむとす依りて之れが遂行に就いては蠶種の供給飼育の指導蠶繭の處理等に付き充分攻究を遂げ一般當業者を指導し以て優良の成績を擧げしめ其收益增進を圖るに遺憾なきを期すべし

▷著作原稿懸賞募集◁

原稿種類

一　朝鮮風俗に關するもの
二　朝鮮歴史に關するもの
三　朝鮮行政法其他朝鮮特種の法律に關するもの
四　朝鮮蠶業に關するもの
五　朝鮮に關する各種出版物

(原稿は内鮮人向を問はず)

賞金　(壹等)[illegible]圓(貳等)七拾圓(三等)五十圓
選外の分と雖も出版に適するものに對しては二十圓以上四十圓迄の謝禮金を呈す

審査　京城日報社及各專門大家に委囑す

〆切期限　大正八年九月三十日

應募規定

(一)原稿は五號四十字詰十五行二百頁以上五百頁迄とし擬假名を附するものは擬假名付き寫眞、繪畫等必要なるものは共に之を添付せらる可し
(二)當選及謝禮金を受けたる原稿の版權著作權は發行者に移るものとす當選外の者と雖も原稿は一切返戻せず
(三)當選の原稿はウツボヤ書店にて出版發行し京城日報代理部にて發賣す
(四)出版物の體裁及價格等はウツボヤ書店及京城日報代理部に於て決定す
(五)原稿は同一人にて數篇應募するも妨なし
(六)應募原稿は必ず書留郵便にて送られたし
(七)當選發表は京城日報紙上
(八)賞金は發表と同時に贈呈す
(九)鮮人の著作物は其の筋の許可ありし後贈呈す
(十)以上の規定に反せる原稿は無效に附せらるゝあるべし

京城太平通　京城日報社代理部　・　京城本町　ウツボヤ書店出版部

◎懸賞の隧道　工事落成(增若)　京釜線增若の隧道工事は最初白川組に於て請負工事に著手せるも折悪しく物價及び勞銀の騰貴と鐵道工事界の難工事にして總延長三千四百零五呎の大隧道なるより遂に破損するを得ず中途工事を投出したるより更に間組に於て之を請負一千圓の懸賞を附し極力貫通を急ぎ居りたる結果豫定より工事進捗し去る六日午前十時全く貫通したり(大田)

◎鵞口瘡猖獗　江原道は益甚し　市場を停止す　既報江原道鐵原金化伊川華川各郡に二百數十頭の鵞口瘡現はれ直ちに現場に臨時防疫所を設置して各市場も停止し交通遮斷及び獸畜の健康診斷等極力之れが防疫に努めつゝあるが各所に通じ疑似病牛發生し之れに對しては極力檢疫中なりし而して尚ほ客月二十八日に至り春川郡南山面芳荷洞に一頭西下面德斗院に一頭新北面山泉里に一頭東面縣谷里に一頭西上面新梅里に一頭合計四頭の罹病せし事發見され直ちに同洞に家畜出入を遮斷し極力防疫に努め居れり(春川)

◎氷も流れ盡して　兼二浦へ入港船　兼二浦附近の大同江は過日來の暖氣にて全部解氷し上流よりの流氷も殆ど流れ盡したれば汽船の入港も最早一週間後ならんと(兼二浦)

◎農事講習會(江華)　京畿道農事奬勵會江華支部にては二月二十五日より三月三日迄江華郡吉祥面溫水里(元畜産試驗部)の農事講習所に於て開催せり、江華支部よりは金子、川越兩技手講師となり講習生二十名は心之れが講習を受けたり、先づ金煕子技手は改良豚の普及、其他に就き痛切なる講話を爲したる結果、現郡參事金裕榮氏は大に感動し、講習生中に於ても改良豚の購入資金に困難の者、數多ある由を聞き、之れ等講習生に對し改良豚の飼養を爲さしむべく、其資金を無利息にて貸與する事となり、一層今後の發展を期し得べく、川越技師は元來當島は漁業振はず他に重なる方法なければ、農事の專一なる必要を細々説じ、改良種豚良部は可なり非常の好成績にて、其收穫多く殊に當地の適地たるを思むるを以て、殿良部の普及を説きたりき、其他林業發展に至る迄、有益なる講話を爲したるが、是又郡參事金裕榮氏は自家貯藏に係る改良部四石を他品と交換し以て殿良部の普及を爲すべく、斯くして離島當局勸業も將來著しき進歩を見るべし

◎國葬と入城者(木浦)　木浦驛一二兩日の乘客は葬儀拜觀の爲め鮮人の入城者多く去る一日には一千四百十三人、二日には千四百四十八人の乘客を見しが二月二十八日湖南線各驛一日の收入總計は一萬五千圓に上りたる由なれば一日二日の乘客は尚以上となるべし而して乘車備員の爲め乘車し能はざりし者非常に多かりしと

◎兇賊は十五年　九州、關西、朝鮮を股にかけたる兇賊宮川正一は釜山地方法院にて懲役十五年の判決を受け大邱覆審法院に控訴し七日午前十時半釜山發列車にて大邱に護送されたり(釜山)

◎鮮人銃殺さる　間島銅佛寺の鮮人等は臨江の襲撃を企て小車に臨み滿載し胡川街附近を通過しつゝあるを支那巡警現認し追跡砲したる一彈は件の鮮人を殪し目下取調中なりと

◎院線驛名改稱　三月十一日より東海道本線八幡停車場を近江八幡と改稱する旨滿鐵京城管理局に鐵道院より通知ありたり

◎補缺選擧(春川)　春川學校組合議員補缺選擧の結果佐々木喜市、北村治平兩氏當選せり

製紙職工養成

大邱　高田筑水(寄)

朝鮮に於ける製紙の沿革は詳かならずと雖昔日殷盛を極め支那各地へ輸出せられたるものの如く中世文化の頽廢と共に漸次衰頽せるは一般に認むる所なるが新政以來當局の指導奬勵により多年衰頽せし製紙業も再び隆起すると共に紙需要の勃興以來其の需用は旭天の勢を以て增加せられ各資本家は新築有るを以て各地に工場或は製紙會社を興すあり從來の工場は擴張するあり然るに是等製紙業者の最も難關とせられつゝあるは相當技術を有するものは勿論

職工の皆無なるに苦める ものの如し然るに各道に於る製紙傳習所或は製紙工場の如きは從來を通じて僅に數十名の技術者を養成せられたるも技術者の多くは技術專門の傳習よりも寧ろ工場的收入を主として養成せられたるものの如く修了後は單に自家の製紙に從事するか或は數個等に奉職せるもの多く實際は自ら操業に從事するものは僅少なるを以て工場の擴張或は新設に經營せんとするものは殆んど職工を得て初めて準備或は擴張せざれば能はざる状況にして是等職工は常に高給を得る爲めに異動するを以て折角擴張或は經營するも職工の轉ずるがため休業せざるべからざる悲境に立至り休業させらんには高給を支拂はざるべからず高給を支拂ふに於ては場主の收支償はずさて之を行ふに於ては職工に滿足即ち生活せしむるがために經營せざるべからざる境遇にあり故に現勢は技術の養成に勿論なるも其の時代は稍過去にありて現代は職工の養成にあらんと思料せらるゝ彼の高知縣にありては昨年より三箇月講習として抄紙職工に對し月十八圓方職工に對し月十三圓の補助を給し盛に職工の養成に努め最近又百名を集して職工の養成に着手せらるゝ由なるが朝鮮に於て生産道にありてば大に鑑みる處ありて此の際優良なる職工を養成し各需用者に供給し益々斯業の勃興を企圖せられんには指導奬勵を盛にするも木によりて魚を求むる状態にして容易に目的に到達する事困難ならんと思料せらる此の職工養成につきては斯界一般に渇望する處にして此の

職工養成と共に一面原料の増植を圖り相俟て其成績を擧ぐるを得べく目下の如く原料の枯渇に陥るのみにては將來は原料貧弱なるにより職工不足のため製紙する事能はざるに至るべく當局に於て職工養成に意を注がれん事切に希望するものなり

演藝案内

有樂館　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　當る三月五日より特別大寫眞　米國ユニバーサル會社特作　出演名優エディス、ヂョンソン孃　フランクリン、ファナム氏　人情劇『誰の手』全五巻　ブリラ、チイーン特作映畫　ゲレット、バーゲス著小説『白き孔雀』をエルマー、クリフトン氏映畫に改作せる名映畫　人情劇『都の中心』全三巻　現代劇『惡靈』全五巻

壽館　本町二丁目　電話一〇五〇　新進浪界の快男兒　三升家華城一行　▲水府老公▲鎌倉孝子傳▲安太平記▲興世の矢▲加太の浦風▲浮世の逆浪▲最近出來事　本筆　三升家華城　山川松　若美奴春

黃金館　電話二二六六　當る三月八日より　鬼鹿毛入道　全四巻　第六『鐵道王の娘』　新派『春待つ人』

大正館　日本活動寫眞株式會社代理店　電話八七三　當る三月四日より大寫眞　『天使』　『里見八犬士』全三巻　『夕潮』全五巻

壽座　京城本町　電話五七八　當る三月六日より　前狂言　中村歌右衛門　後狂言

初日以來連夜大入　滑稽讀の名物男　岡本筆春　新進浪界の快男兒　三升家華城　都野川事件　愈々佳境に入る　壽館　われる如き大入氣

浪花館　京城明治町　電話二六〇　浪花節北海入道一行

一千反限り　高貴織　正金代用金指環進呈　高貴織が二圓七十錢で買へるとは原料の高き今日嘘のやうだが現に過去七年間呉服の格安亂賣で評判を取つた東京市日本橋區本石町一丁目呉服問屋關谷商店が最新流行の新規高貴織を前記の馬鹿値で投賣しつゝあるが日々羽根が生へて飛ぶ大賣行納合も地質も一見高價の本場物に負ぬ上等品でタッタ二圓七十錢特別上製乙號三圓二十錢同甲號四圓二十錢と云ふ一風變つた大安賣買はぬ者は損なりけり且大賣出しの紀念として天然十八金色不思議の金指輪を一反の注文毎に無代進呈をなす由因に地方の希望者は同店宛ハガキにて男女別年齢記し申込めば柄合親切に選び代金引替送料實費で送るとの事

自動車　運轉手技師販賣員となり收入莫大なり高等科木科專科及校外生新學期開始大募集中込至急規則送與　東京市京橋區　東京自動車學校　大阪市西區市岡町大阪自動車學校　岡市中島町自動車講習所　本校卒業生愈々不足校外生と雖も

月やく　月やくさまり月經不順の爲食物胸につかへ時々嘔吐を催し腰足痛み下腹筋張り逆上頭痛耳鳴こしけ強く顔色青白く同じ病の人に　心配の方は私方へ遠慮なく申込あれ　大阪市北區曾根崎上一丁目四番地　森田屋

帶地。セル。陳列會　三月十日より三十日まで　於龍山こまや向店階上

ひぜん水　ヨクキク！　大阪市外寺鳥海六ノ下茶屋驛前北　本舗　田知本和三郎製　各藥店に販賣す振替大阪二八八番

産婆生募集　規則要郵劵　福岡市外堅粕町　福岡産婆養成所

清酒・罐詰　釜山　あづまや商店　電話三五九番　糖粉・官煙

長岡商店

酒精・燒酎　古貢米碎米大豆　砂糖麥粉　釜山埋立新町　福榮商會

島田糸店　釜山　電話五七八　糸物專門

石鹼界之覇王　スマートン　精選品質本位　トーマス　株式合資　釜山草梁

釜山名譽商店案内

九州線鳥栖驛前　結核專門　古賀病院

鐵材　鋼　浪板、平板　針金、洋釘　新田帶革總代理店　ペイント、油類一切　コークス、セメント　耐火煉瓦、モルタル　スコップ、シャブル　帶革、ロープ　機械、工具附屬品其他　自神洋行　京城

雜貨の仕入なら何でも揃ふ　釜山の明治屋

岩瀬商店　釜山本町一丁目

報告　氣壓の配置　天氣　朝鮮海峽　滿洲及支那北部

大正八年三月十日　日出　日入　潮

汽車時間表

線	發驛	時刻
京釜線（南行）	南大門發 龍山發 永登浦發 水原發 成歡發 鳥致院發 大田發 永同發	[illegible]
同（北行）	釜山發 草梁發 三浪津發 密陽發 大邱發 秋風嶺發 永同發 大田發	[illegible]
湖南線（南行）	大田發	[illegible]
同（北行）	木浦發 松汀里發	[illegible]
關釜連絡	釜山發 下ノ關着 / 下ノ關發 釜山着	[illegible]
京義線（北行）	南大門發 龍山發 金村發 開城發 新幕發	[illegible]
同（南行）	安東縣發 新義州發 定州發 宣川發	[illegible]
平南線 / 兼二浦支線	平壤發 鎭南浦發 / 兼二浦發 黃州發	[illegible]
京仁線（仁川行）	南大門發 龍山發 永登浦發 素砂發 仁川著	[illegible]
京元線（北行）	南大門發 龍山發 清凉里發 議政府發	[illegible]
同（南行）	元山發 三防發	[illegible]

眞實は永久に古びず

金言

歐米婦人にまで盛んに賞用せられる

國產靈藥

中將湯の眞價

◇振出して服むから効く

西洋風の水藥などから比べると、服む度毎に振出して用ふるのは手數がかゝると思ふけれども、その度毎に振出して服むからこそ、藥質中に含まる大切な揮發成分を失はないのであります。つまり有効成分はその揮發物中に存するのです。所が水藥や散藥にすると、肝甚な揮發成分が逃げてしまふので、効能に於て格段の差が生じて來ます。ですから中將湯などは振り出して服むからこそ良く効くといふ理論が明白であります。最も進歩したこの藥物學上の理論から、西洋醫學でも中將湯式の藥劑は振出藥を使用するやうになつて來る傾向です。

血の道 子宮病

子宮病　產前產後　血の道
血ぶさり　逆上頭痛　氣ふさぎ
下腹痛　[illegible]　夜眠れず
[illegible]　難產流產　腰足冷込
[illegible]　內膜炎　つはり
婦人[illegible]　こしけ　月經不順

定價

貳日分	金參拾錢
四日分	金六拾錢
壹週分	金壹圓
貳週分	金壹圓九拾錢
參週分	金貳圓七拾錢
五週分	金四圓參拾錢

●試驗藥あり 詳細しく申し込まれよ
一週間分 金壹圓貳拾錢
三週間分 金參圓貳拾錢

中將湯

東京市日本橋區通四丁目
本舗 津村順天堂本店
電話本局六二・六六三 振替東京六〇八番

大阪市堺筋大寶寺町
支舗 津村順天堂支店
電話南二五五 振替口座大阪四五六番

中將湯に優る婦人藥なし

事實

第四千百十一號 (一) (明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)
THE KEIJO NIPPO 大正八年三月十日 (年中無休刊)

陸軍記念日

京城日報
第五版
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社 發行兼編輯人 奥田直 印刷人 小川三之介

▼株式良氣配 [illegible]
▼爲替は軟弱 [illegible]

露國を悲む 陸軍記念日に

京城日報

世界に不可解の國二あり、曰く露西亞、曰く支那是なり。而して兩者とも相前後して我が帝國と干戈を交へ、其が敗戰を動機として國內に澎々の波瀾を起し、梟亢蹶揣、其安定に歸するの何づの日に在るを知るべからざるの狀あるも一奇なり。殊に露國の如きは全く收拾すべからざるの狀態に在るは、慘の慘なるものといはざるべからず。由來露國は奇怪なる國柄なりき。數百年間繼續したるロマノフ帝統は、威嚇赫灼たらざるにあらざりしも、其の帝者は大抵終を善くせるは鮮し。而して常に專制の下に國民皆塗炭に苦めるが如くにして、實は然らず。前世紀に於ける國運の進展、國力の增張は、洵に目を眩むばかりのものあり。若夫一代の俊傑ゴルチアコフの西伯利經營に至りては、其氣魄の雄大なる、其目的の遠大なる、洵に吾人を驚嘆せしむるに足るものあり。爾來露國の勢力は漸々として支那及び我が日本に迫り、早晩相互の間に衝突を醸さゞるを得ざるの形勢を馴致したり。康熙年間、支那と第一の衝突を來したるが、當時支那は清朝極盛の時代たりしを以て、大なる失態を演ぜずして、無事に解決するを得たり。次に我國との衝突を見たるは、幕末に於ける蝦夷地方の騷擾なりしが、當時國防の皆無なりし我國の狼狽は、實に譬ふるに物なかりしなり。其後歲月を閱するに從ひ、彼我衝突の機は、ますます熟し、竟に三十七八年戰役の幕明きとなりたるものなるが、是れ我邦に取りては實に破天荒の冒險にして、何人も初めより必勝を期したるものなかりき。幸に皇天の冥佑と、聖天子の威德とに依り連戰連勝、卅八年三月十日奉天の大捷を以て、旅順の大陷落を告げ、尋いで五月に入り、日本海に於ける大海戰を以て、いよいよ戰局を收めたるが、露國が此の戰敗より受けたるの創痍は容易に恢復し得ざるものあり、後年獨逸をして安じて巴爾幹に向つて其の辣腕を伸べしめ、遂に今回の大戰爭を激成せしめたり。凡そ戰敗の禍ほど、慘烈にして且つ深酷なるものはなし。其の禍害たる猛激にして驟雨の如く直に頭上を打ち來るものあり、或は徐々として大潮の打寄するが如く、其の破壞力を逞しうするに至る。人力の強大なる人力を以て防遏すべからざるものもあり。若し露國をして三十七八年役の敗績なからしめば、獨逸の野望をして彼が如く大ならしめず、好し歐洲戰亂の勃發を見ることありとするも、露國の威力は克く獨逸を牽制して、佛國をして危殆に瀕することなからしめたるや必せり。從つて國內に於ける彼が如き大紛亂を醸すことなく、露國は依然たる露國たりしならん。因果應報なりとはいへ、誠に氣の毒の次第なりき。今日の露國は土崩瓦解、芬蘭、小露西亞等の獨立分離せるものはいふにも及ばず、各處に分立せる小政府の數多しと雖も、能く一地方の安寧秩序を保ち得るものなく、其間に過激派の横行して掠奪殺戮を縱まゝにするあり、同じく戰敗の革命と云ふも、獨逸の能く秩序的に進行するに比すれば、其差天壤も啻のみならず。是れ其の國土の廣大にして、且つ人種の雜駁なる、之を取締むるに至難なるにも依ることゝ雖も、要するに民心の亂嘩昏迷、適從する所を失ひたる結果ならずんばあらず。而して其直接の原因は今回大戰爭の敗亡に在るとの論なるも更に遠因に遡れば卅七八年戰役に歸せざる可らず。戰敗の禍害の慘烈なる、蓋し露國を以て最好標本となすべきのみ。帝國常に天佑ハ在るあり、古往今來、未だ曾て敗戰の苦を嘗めず、此の金甌無缺の國土を維持し、國威四表に光被するの隆運を荷ふと雖も、古語にも『戰ひ勝て將驕り卒怠るものは敗る』といへる通り、近時の國情を大觀するに、吾人の寒心に堪へざるもの決して一二にして止らず。昔日項羽は百戰百勝して垓下の一敗を以て其身を亡ぼしたり。露國も亦百戰百勝の國なりしも、卅七八年役の敗績を以て其運命を一轉したり。庶幾くは吾人國民胸をして之を殷鑑と爲さしめよ。今日陸軍記念日に會し、特に感慨を禁ぜざるものあり、以て自ら警め、又以て人に告ぐ。

擧國一致の精神 陸軍記念日に際して

龍山 某將軍談

十四回目の陸軍記念日を迎ふるに當り轉た感慨無量なりとて當時を追懷しつゝ龍山の某將軍は縷々として語る日露事變の際吾輩は公使館附武官として英國に居た其の時今の臺灣總督當時の露國公使館附武官たる明石將軍と協力して敵の情況を探り細大漏らさず報告をした

殊に奉天攻撃の

際は各方面から敵情を探知して我軍の行動に間接ではあつたが大に努力した從つて吾が輩は奉天陷落には因縁が深い、それ丈け印象も深い當時英國の我公使館では寄ると觸ると奉天は何時陷るだらうかこの話で殆んど持切つて居た一方市中では落る落ぬの憶測が盛んなものだつたそれから間もなく陷落の情報が傳へられたので吾々館員は思はず雀躍して喜んだ其處で早速祝盃を擧げて我帝國萬歳を何度となく繰返して唱へたと同時に

在留邦人の祝盃

か彼方でも此方でも擧げられると云ふ有樣で全く其際の愉快な氣持は永久に忘るゝ事が出來ないと語り切つて茶を啜つた將軍は快心の笑を湛へ此の陸軍記念日を迎ふるに方り吾輩は一般國民に心得て置いて貰ひたい事がある、それは外でもない忠君愛國の精神で團結した擧國一致の觀念である此精神さへ確かりして居れば我國は光輝赫々として永久に世界に光を放つに至るのである顧つて露國を見よ彼れは忠君愛國の觀念から離脫して擧國一致の實を失つた結果國は亂れて見る影もない實に寒心に堪へないではないか、苟くも一旦劍を拔いて猛然と起つた以上は飽く迄も戰ひ拔いて

最後の勝利者た

る事を期せねばならぬ、國民は戰ひの始めより終り迄擧國一致思想國を納ける精神涵養に努めなければならぬ幸ひにして日清事變以來敗戰の苦しい經驗を嘗めた事がない吾國民は今後萬が一敗戰の場合に遭遇したとしても擧國一致の覺悟を缺いては斷じて不可、一度敗れて悲觀の念を抱くやうでは誠に困る又其場合假りにも擧國一致で當つたとすれば甚だ遺憾であるが難局にしても收まらうと思つて收まるものは無い以下若し敗戰の場合があつたとすれば此時は

更に後援を續け

て終局の勝利を收めさせるやうに心掛けねばならぬ要するに戰ひに際しては國民は平素の忠君愛國の觀念を一層深うし前頭徹尾擧國一致を續け而して最後の勝利を收める事に努力するやう希望して止まないのである

財界の新奮人 (54)

西海生

小山庄三君 鈴木商店支店長

帝國の對外貿易に於ける神戸の鈴木商店の勢力は實に旭日昇天の概がある、その餘りに急激に、餘りに手廣く、餘りに各方面に渡るため、數年來鈴木に對する毀譽褒貶の聲は隨分高いが、その事業界に擴がる步を占めて外國貿易に活動し、吾が商圏の擴大に盡力しつゝある功は十分認めてやらねばならぬ、三井物產と鈴木商店こそは實に本邦貿易界に於ける兩花形である、朝鮮に於ても亦三井と鈴木は商界の兩大關である、其つ鈴木の京城支店長小山庄三君は逸すべからざる財界の人物と思ふ

▲鈴木商店の朝鮮に於ける事業も隨分範圍が廣い、綿絲布に、雜貨に、麥酒に、鐵類に、或は又その傍系の各種事業に、その總大在る事業の綜率は可なりに熟練と手腕と、力量を要するや勿論である。鈴木支店長の小山君を知らぬ者は、何人も君が相當の年配で商界の波瀾を多年乘切つて來た人ならんと想像するであらう、然るに初めて小山君を訪うて、その瘠せた、色の黑い目のギヨロリとした三十三四の青年―それが朝鮮に於ける鈴木の代表者たる事を知つて異口同音に驚くやうだ

▲若い者が働かなくては帝國の前途をどうするなど、よく各方面に於ける老先輩は曰つてゐる、然し乍らその老先輩諸氏は容易にその働かねばならぬ若い者に重要な地位を譲らない、之れは若い者に堅實味を認めないのか、若くば若い者に意ず地がないのか、その孰れの鑑賞が陸くも、小山君が大正四年三十そこ〳〵で、半島に於ける鈴木の事業を自ら創始して之れを切り廻すに至つたと云ふ事は、確に異數と稱して差支ない、然も在任前後四箇年、成績の實質はよく知らぬが、年一年と事業を擴張し、徒に活動の步を進めつゝある事は、確に青年の爲に氣を吐くものと云つて大した過褒でなからう

▲君は播州の出身、少年時代より鈴木商店に入り、中途大阪の藤田商店に轉じたが又復鈴木に復歸して今日に至つてゐる、高等教育を受けた人でもなければ、又何等財閥の後援あつて現在の地位に上つた人でもないらしい、君は自力を以て進み、信用を以て立ち、堅實に確的に―時には失敗もあるが―一步〳〵斷進して來た人、自ら成せぬ人であらう『私は御覽の通り貧弱の男でして……』と君はよく云ふ、成程容貌は幾分貧弱であらう、然し乍ら之れを一個の人物として見れば、決して貧弱枯痩でない頗る味はひある人である

五色饅頭

劍花坊

神事を詠じた句には、いづれもいゝ品なところがある、中に無限の滑稽を寓して居ながら……。

いざこざも無くて渡らせ給ひ祭が無事に濟んだといふことな神先づ叱られ給ふ世の教

古事記から題をとつたもの。

神代にもだます工面は酒が要る

素盞雄尊の大蛇退治。

大神樂咽のあたりに喉鳴あり

獅子頭をよんだもの。

戸隱しも神樂の間拔を拔き

手力男命が、天の岩戸を押し開けるまでの準備時間だ。

正一位に任てのたまはく

福祿壽四五人前の頭巾がし

頭が長いから……。

鯛じ無い時はうつちやる夷子神の釣。

毘沙門の外は足弱ばかり也

七福神を列擧すると辨財天が婦人、壽老人が老人、福祿壽、大黒天、子が畸形、布袋が肥滿、なるほど毘沙門だけが、並の男子でしかも強さうだ。

雜話抄

◆飛行郵便の將來◆

一九一八年の初めから試みられた飛行郵便は、最初はワシントン、フヒラデルフィア、ニューヨーク間であつたが、次で最近ニューヨーク、シカゴ間に開く事となつた、料金も最初二十四仙から十六仙となり、次で六仙となり、普通第一種郵便の倍に三仙となつた、之は各オンスに就いてある、之は今では最早娯樂ではなく實用に供せられて居るのであろ、ボストンとニューヨークの間もやがて施されるであらう、多分一二年中には太平洋沿岸から西洋沿岸へばニューヨーク及びワシントン等とシャトル及びサンフランシスコとがシカゴ及びスントルイズ等の中央地方都市を經地として飛行郵便によつて連絡さるゝであらうと思はれる(セ、スピード)

漢詩募集

▲題 看梅 ▲體 七言絶句
▲期限 三月二十一日限
因に自今本社に投稿せらるゝ漢詩は他の評語批點を經ずして直に報詩壇苑に投寄せられたし

一年卒業 實業講習錄

▲寄宿通學部 ▲自宅講習部 男女生徒募集 本科四ヶ月卒業の上責任紹介就職せしむ
本邦唯一 獨習容易 成功保證
簿記通信教授
▼規則見本郵券二錢封入御請求あれ
大阪市天神橋筋六丁目 振替大阪一九 簿記會計學館

講義大改正
本會は新時勢に鑑み講義を改正し更に工業科の新科目を加へて時代の要求に應ぜんとす實業に志す男子も婦人も來れ

特色
銀行會社員 商店工場員 婦人事務家 小學卒業生 請まれよ
科目は讀んで直に役に立ち講義は親切講師は一流の在野學者早し

戰後最も必要なる
商業通論 東京高商教授 石川文吾
商業各論 大阪高商講師 下水千市
經濟講話 法學博士 河津暹
商業簿記 明大教授 中村茂男
銀行簿記 中央大教授 太田哲三
工業簿記 大阪高商教授 吉田良三
商業英語 大阪高商講師 佐川春水
商品地理 商工局事務官 青木利三郎
商業數學 大阪高商教授 小林行昌

會員大募集

講習の十八科目
珠算暗算 商業講師 村井京之助
商業作文 東京高等商業教授 杉山令吉
工業通論 東京高等工業教授 河合勘治
化學工業 工學博士 三田晋三郎
商店實務 東京高商教授 秋保安治
工場實務 バチエラーオブサイエンス 非關十二郎
實用習字 文部省 西脇呉石
新處世法 實業之日本社長 增田義一
科外講話 專門大家十數名

總裁 大隈侯 顧問は當代一流の學者實業家教育家也
副總裁 澁澤男

大特典
▼入會金全免……只今入會者
▼獎學金提供……一等三十圓 二等十五圓
▼徽章 會費割引 券進呈……一年及半年分一時拂込者へ
▼賞牌を授與……成績優等者へ

見本無代 はがきで御申込次第送呈
會費 一ヶ月七十錢 三ヶ月二圓 半年三圓八十錢 一ヶ年七圓二十錢

東京京橋 實業之日本社 振替東京一〇〇一六番 帝國實業講習會

祝陸軍記念日
龍山金融倉庫株式會社 龍山漢江通 (電話一四八番)

家畜界
本號武拾五錢 半年特別二部を含み一圓八十九錢
東京神田仲猿樂町 振替東京 曉聲社

實驗養鷄號
◎養鷄大觀 好評四版 金四十錢
◎育雛寶典 好評三版 金一圓
◎養鷄秘訣 好評五版 金四十錢
◎育雛虎の巻 好評五版 金四十五錢

祝陸軍記念日
東洋拓殖株式會社 大連支店 電話長一三五五番 振替大連一九七八番 電略タイレントタク
東洋拓殖株式會社 奉天支店 電話長六五七番 振替大連一九六八番 電略ホウテントタク

祝陸軍記念日
上等口付卷煙草

二十本入定價十錢
金剛は敗島の姉妹煙として新製し愛煙家の座右に供せらる
如何に品質の優良なるかを!!
御試喫あれ……
東亞煙草株式會社

祝陸軍記念日
サッポロビール
大日本麥酒株式會社 京城出張所

◇國際聯盟會議
瑞蘭、典平和協會主催 主として學理的性質を帶ぶ

瑞西、和蘭、瑞典に於ける平和協會主催にて六日より一週間當地に國際聯盟會議開催さるべく英佛米伊獨等の國際聯盟協會、平和協會代表者出席すべし同會議は主として學理的性質を帶べるものにして國際聯盟に關する各般の討議を爲し其結果を今回の國際聯盟案に對する意見として發表するにあり(ベルン電報)

◇伊太利損害高

賠償委員會に提出せられたる陸海軍當局者に依れば伊太利の損害は陸軍戰死者四十六萬五千三百九十一名負傷者七十五萬三千八百八十六名(此半數は永久的廢兵)海軍の損失は戰死者三千百六十九名負傷者五千二百五十二名又戰鬪力を失ひたる者四百二十八萬五千四百八十七名(病氣の爲めの二百四十萬人を含む)にして其の損失は本國及び植民地の全人口の二割を占め居るが此損失は佛國の夫れと匹敵し居れり尙伊太利は艦艇八萬噸を失ひたるが右は總噸數の五割七分に相當すと(紐育電報)

◇佛小露協約說

佛國と小露西亞との間に協約成立せりとの說あり(倫敦電報)

◇阿富汗斯坦王讓位

阿富汗斯坦新王は讓位し先王第三皇子サラールアマラーハン即位せし旨の公報印度政府より公表さる(カルカッタ電報)

◇獨勞會罷業決議
伯林に戒嚴令を布く

六日伯林電報(廣電)=伯林勞働會議は三日大規模の同盟罷業決議を爲せるが之れに對し政府は伯林に戒嚴令を布き抑壓に努めつゝあり尙中央獨逸はハーレを中心としライプチヒ、エルグルート等にて二月下旬以來工夫の罷工並に之れに關聯せるスパルタカス派の騷動起り一時伯林ワイマール間の鐵道交通遮斷されしも辛うじて恢復せりとミュンヘンは其後引續き勞兵會政權を握り又ケーニスベルグ、ドレスデン、マンハイン、バールスルーへにても不穩の狀あり尤も西北獨逸各地に於ける騷擾は大略終熄を告げたるもゝの如し(倫敦電報)

◇英艦隊東洋廻航

英國公使館側よりの消息に依れば同國艦隊二十一隻は巴里講和會議終了前後に於て東洋に廻航すべく但し何等政治的意味なしと(北京電報)

◇過激陰謀發覺 ブ市
=ブ市占領計畫首領遁走す=

ブラゴエチエスクに過激派の陰謀行はれ拘禁さるゝもの續々たり露國探偵局は四日夜過激派司令部を押へたるが其結果過激派は四中隊を編成し之れを中堅としてブ市を占領せんとしつゝありしを知るを得たり過激派首領ムーヒンは四日夜同市を遁走せり(北節營東京特電)

◇過激派動員發表

過激派政府は五十五歲迄の將校四十七歲迄の下士卒に動員する旨を發表せり(倫敦電報)

◇陳停戰命令通告

陝西督軍陳樹藩氏より政府の停戰命令に對し既に確實に停戰を命令したりと報じ來れり(北京電報)

◇支那回答曖昧ならんには斷乎たる手段を執らん
段一派の武斷派我勸告を喜ばず

我政府の勸告に對し支那政府は何等かの回答を爲さゞるべからざる立場にあり徐總統始め文治派は我勸告を首肯せるも段一派の武斷派は之れを喜ばざるもの如く自然回答も遲延しつゝある狀況にありされど右回答にして曖昧ならんには我政府は一層峻嚴なる第二の勸告を發すべく要するに武斷派の陰謀を除去するは當面の急務なるを以て我政府は斷乎たる態度に出づべく之れが手段既に決定し居れりと傳へらる(東京特電)

○空中窒素計畫
日米合同事業

▲硫安を製造 する一大[illegible]會社を創立する計畫を立て目下其[illegible]來る十五日横濱解纜の春洋丸にて歐米漫遊の途に上る可き住友總[illegible]カル會社は總株式の二割を引受け(米國ゼネラル、ケミカル[illegible]部分を引受け[illegible]工場を建設する目論見なるが其[illegible]の敷地は現在各工場にて製造[illegible]

○鐵相場變調

[illegible]米國政府は既に鐵相場を引下げ四月に公定[illegible]より先安の人氣頻々たるに拘らず一面政府の保護問題を前途に控へ[illegible]然るに外國の入荷は銑鐵に比べ棒鐵は一噸に付約五十圓以上の[illegible]を示せるに對し我市場に於ては[illegible]分[illegible]するならんと觀測せられ居れり(東京)

◇御慰問使出發

南北滿洲駐在陸海軍慰問且つ狀況視察の爲め差遣の御沙汰を拜したる侍從武官田邊陸軍少將は恩賜の葡萄酒紙卷煙草を奉戴し九日朝東京驛發大連に向へり(東京特電)

◇佛飛行將校招待

近衞師團長久邇宮殿下には來る十六日佛國飛行將校團長フオール大佐以下を霞ヶ關離宮に招待午餐を催うさるべし(東京特電)

◇山田中將陞位

七日卒去せし陸軍中將山田隆一氏に對し從三位、敍し勳一等旭日大綬章を授くの御沙汰ありたり(東京特電)

◇駐日佛大使著期

本邦駐劄佛國大使バプスト氏は來る十六、七日頃横濱著の豫定なるが四月上旬信任狀を捧呈すべし(東京特電)

◇新義州陸軍記念

新義州在郷軍人分會にては十日午前十時より同地小學校に於て陸軍記念祝典擧行終つて定時總會を開き夫より演武大會開催終了後祝宴をなすべし(安東特電)

○大なる損害に非ず
堀拔隊の全滅といふも一二個中隊に過ぎず

西伯利派遣軍當局中なり陸軍省當局課員工兵少佐佃月網氏は此の程鮮通過歸東せるが其の談に曰く

▲堀少佐 が過激派討伐に向ふ前日予はブラゴエチエンスクを出發せるが當時過激派は漸次頭を擡げ逆襲の準備をなし居れりとの風說專ら傳へられブラゴエチエンスクの住民は大いに警戒し中には黑河方面に避難せるものも尠からざりき堀枝隊が出發に際し兵力の增援を軍司令部に乞ひ拒絕されたりとの說は何等根據なき風說にて同枝隊に對しては特に我が軍より若干兵員を增加せんとせるも少佐は區區たる敵兵を討つに左まで兵力を要せずとて其增援を斷りし程にて之が實國に增援を求めしなど全然信ずべからざることなり

▲枝隊全滅 と文字に顯せば如何にも大部隊が非常なる損害を受けし如く聞こゆるも枝隊と云ひても僅一、二個中隊に過ぎず從つて其の兵員も尠く左まで大した損害に非ざるなり堀枝隊が多大なる損害を受けしは敵の大軍團と遭遇しこれと激戰せるがためにて多數の戰死者を出だし尙ほ且つ善戰し敵を擊破せる勇敢なる働きは大いに賞讃すべきなり

▲過激派 は最近到る所に活動を初めしより我が軍にては極力之れが鎭壓をなしをるも彼等は良民に化し居るため其の兵數等を詳細にするを得ず殊に彼等が武器を地下に或は山林に隱匿し或る際之れを持ち出だし砲火を開くたる實に危險にしてこれが各地に散在し目下その兵力を集中せんとしつゝあるを以て之に先だち彼等を討伐する要あり堀枝隊の如きもこの目的にて向ひし際思はず敵の集團に會したるものなり過激派の首領

▲ムーヒン は蹤跡を沒したるが彼のやりし仕事は今回の戰鬪の如き彼の部下には獨墺の將校もあるが突然一國を形造り紙幣を發行し食料等の配給をなすなど積極的活動をなし彼の唱ふる過激主義は徹底し勞働者を動かしつゝあるは事實なりとす

○銀行態度强硬
正米の投げ物頻出せん

近來內鮮を通ぜる期米の底拔け的慘落は外米入荷の激增內地米の不買れ正米の出廻り增加支那米の禁輸說あるに拘らず續々その入荷を見る等要するに前途の

▲供給不足 觀念一掃されしに因を發したるものにて米界の實勢一變したりと斷じて差支へなく蓋許その反撥的昂騰は到底望み難く各地を通じて賣人氣旺盛を呈しつゝあり朝鮮米の一石三十圓說は數日前に於てこそ狂氣の沙汰とせられしも今日にては近くその實現を見るべしとの觀測有力となり來れり從つて某々有力銀行を主とし米穀貸出しを有する各銀行は八日以來極めて强硬の態度を以て債務者に增擔保若くは預金の納入を迫りつゝあり蓋し各銀行の米穀評價は二十九圓頃より

▲三十一二圓 の間にあり既に慘澹たる正米の商狀は此の保價格に切れ込まんとするに至れるより銀行は自衞上嚴重の督促をなしつゝあるものにて某所調査によれば目下鮮內の米穀金融は約二千萬圓に上れるに付此際二割の預金を增徵するとせば四百萬圓三割とせば六百萬圓を要する勘定となり到底貯米筋に短期の間に莫大の資金を調達し難きは明かなるを以て商途愈安氣配に付必然是散地に開港場に於てその手持米の議み投出し現はるるものと觀測されつゝあり然も定期の崩落度なく賣手は何れも手控への際なれば投物は

▲益々安値 に蹈襲され米價は一段の慘落を呈すべく鮮米の慘落は更に內地米の崩落を誘致し結局循環安を來さん傾向にありと

○財界動搖
米價暴落影響

米價暴落の結果京城仁川釜山各地の財界は七日以來不安なる動搖を呈するに至れるが內地米界の情報は愈不況を告ぐるより銀行の態度は益々戒嚴と相俟ち不詳事の發生は此際米價の引返さゞる限り避くべからざる狀態にありと

○釜山市場保合

八日釜山米市場は底拔の大暴落にて前日に比し遂に二圓五十錢乃至三圓安を示したるが九日は人氣稍落付相場は保合を呈し居れるも取引殆んどなく市場閑散を極め居れり(釜山特電)

○軍司令官弔問

宇都宮軍司令官は八日故任善準子爵の弔問に付き古城副官を代理として弔問せしめたり

烏拉爾の鑛業

▲銀鑛 烏拉爾に於て有名なる銀鑛は(一)ブラゴダト諸銀鑛(エカチエリンブルグより三十露里に在り)(二)ミハイロフスキー銀鑛(オレンブルグスカヤ縣コチカルスキー工場地方に在り)(三)下タギリスカヤ地方に於ける諸鑛(ペルムスカヤ縣ウエルホツールスキー郡に在り)にして其の他の地方に於ては多量の鉛、銅其他の諸鑛と混合して銀を産出す、ブラゴダト銀鑛は國庫に屬しエカチエリンブルグスキー郡マネートナヤ官有地方に在り而して現今銀鑛業家はア・エフ・ポクレフスキーコーゼル氏の子孫により經營せられつゝあれども其の開鑛以來久しき間政府自ら之が採掘に當り一八一四年より一八二〇年に至る間に於て粗銀塊四十布ッ二十九フント、銅五百五十三布度十三フント、金一布度十フントを製煉せりブラゴダト銀鑛は安質母尼を含む銅鑛、硫化銅鑛及び含金石英を含む含銀硫化鉛の混合より成り第一ブラゴダト鑛山に於ける鑛脈は厚さは二・五サーゼンにして第二ブラゴダト鑛山の鑛脈は五サーゼンの厚さを有す而して是等鑛脈は斑岩、閃綠岩及び蛇紋石を貫通する玢岩の接觸部に於て扁豆狀をなし鑛石の採掘は掘井によりて行はれ、掘井の深さは二十一サーゼン乃至三十二サーゼンに達す第一ブラゴダト鑛山產の鑛石は最も

▲多量の銀 を含み平均金十六ゾロートニック、銀一フント半及び銅五パーセントを有し其の價一布度に付一留五十哥なり而して第二ブラゴダト鑛山より採掘せらるゝ銀鑛は第一ブラゴダト鑛山に比し其の含む所の金及び銀の量は少量にして金十一ゾロートニック銀半フントなり第三ブラゴダト鑛山は開採後日尙は淺くこれを論ずる價値なきも要するに是等三鑛山は斑岩脈の同一連續上にありて最北に位する第一鑛山は僅に五十サーゼンの延長を有するに過ぎざれども第二及び第三鑛山は第一鑛山を距る二露里の地點にありて約一露里半に連る下タギリスカヤ地方に於ては(一)ゴルノアナトリスキー(下タギリスキー工場の東北六十六露里タギル河の支流グレズナヤ河畔にあり)(二)パウロフスキー(ゴルノアナトリスキー鑛山より三露里を距つるタギル河の右岸にあり)(三)ウトキンスキー(下タギルより三十五露里ウトカ河の右岸にあり)の三含銀鑛山あり凡て

▲含銀硫化鉛 にして粘土石及び絞泥石を貫通する石英鑛中に含有せらるゝ自然銀は普通葉狀、網狀、毛狀並に塊狀を呈しゴルノアナトリスキー鑛山は一八三二年より一八四二年に至る十一箇年間採掘せられて深さ十六サーゼンに於て採掘を中止しパウロフスキー鑛山は一箇年間に於て漸く數サーゼンを採掘し又ウトキンスキー鑛山は三箇年間採掘せられて是れ亦數サーゼンの深さに於て之が採掘を中止せりミハイロフスキー銀鑛はコチカルスキー地方に屬し同鑛山の

▲石炭鑛脈 は自然銀及自然金を埋藏する外尙『エレギリト』ありて沃度を含有する銀の稀有なる鑛物を產し其鑛床は甚だ豐富なり前記諸鑛を除き銀鑛として有名なるは(一)ブレオブラジエンスコエ(オレンブルグスカヤ縣マムベチワヤ村)に近きタナルイク溪谷に在り鑛石一布度中二・五乃至二・〇ゾロートニックの銀量を含む(二)シナルスコエ(ペルムスカヤ縣チヨーブルイ・クリコーチの畔にあり)(三)クリシエフスコエ(オレンブルグスカヤ縣トロイツキー郡に在りてテウイ河の水源に近し)(四)サトキンスコエ(ウフイムスカヤ縣ズラトウストフスキー郡サトキンスキー工場溜池に近し)(五)クワシンスコエ(サトキンスキー國有工場に近し)等の含銀鉛鑛及び含銀銅鑛なりとす(哈爾賓)

○棉花出廻終了

全鮮に於ける實棉の出廻りは昨今略其終了を告げたるが如きも收穫の遲延の爲め多少殘品を存せるもの、如く各道の棉花共同販賣所は三月に入りても尙暫く之を存續するの必要を感ぜる結果多分十日頃迄には閉鎖を見るべく而して其販賣高は昨年に比し約三割以上を減じ居れるが全鮮に徵して之を見るに一月末迄の出廻り販賣高は實棉一千百九萬一千斤、繰綿十五萬二千斤にして之を昨年の一月末迄の販賣高に比較すれば實棉八百七十萬斤、繰綿十九萬斤の減少にして之より推して本年の終了期即ち三月上旬迄の全鮮の販賣高は約三千萬斤に達すべく昨年の販賣高四千餘萬斤に對し約一千二三百萬斤の減退なるべし之が原因に就て見るに不作も其の一因なるが主因は近來の綿布の騰貴に依る農民の手織木綿製織の增加に在るもの、如く其他繰綿の旺盛も亦數に現はれざるを以て販知し難きも全道にて九六萬斤に及ぶべく結局各繰綿工場の手に歸したる實棉は三井系八百萬斤鈴木系一千萬斤朝鮮棉花系一千二百萬斤其他小工場約三百萬斤の割當となるべし

大阪財界便り

▲海運慘況 運賃傭船料は依然底知れず低落しつゝあり傭船の如きも一定の標準なく殆ど時局にて縱令如何程低廉の傭船料を提供するも賤貨なきため引合ふ者なき程度の悲境にあり而して郵商船の如きは辛うじて賤貨を得るも然らざる社外船若くは傭船の如きは全く海運業を營める向は空船を以て航海中寄港地にオッファを發して積荷を取纏めつゝあり全く危險的航海を營んで居るもの、如き狀態にあるを以て川崎造船所の如きは目下落成せる三隻の新船を繫留し內一隻を近日中、大連に向け配船するよしなるが一萬噸級の大型船が大連迄積荷を稼取るが如きは實に近來のレコードである▲猶川崎のみならず乾汽船の第五乾坤丸(五千噸)同崎汽船の日洋丸(五千六百噸)も同樣船主の自營にて京粕積取に大連へ就航せしむる事となつてゐる即ち如何なる航路でも苟くも多少の積荷さへあれば船舶の大小を問はず運用せんとするものにて遠洋航路の賤貨なき結果であらう斯の如き傭況であるから各船會社並に船主は百方奔走して積荷の蒐集に奔走し或る社外船の如きは縣附にて社員に集貨の競走をなさしめて居る、然るに此狀況は那邊にて落附くか未だ見透しがつかざるより繫船するか自營によるの外なき狀態に在るが現在の海運業者は寧ろ利益の採算を無視して唯維れ損失の輕減に只管腐心しつゝあるのである

▲不渡手形激增 銀行の貸付警戒嚴重のため不渡り手形は從つて增加せんとする向ありつゝあり即ち大阪東京其他七大都市手形交換所に於ける二月中の不渡手形は枚數二百三十三枚金額二十八萬六千七百三十四圓九十四錢にして前月に比し五十二枚五萬二千五百十九圓九十九錢の增加を示し一月以降累計四百十四枚五十二萬九百廿九圓八十九錢を前年同期に比し二百一枚十五萬六千四百十八圓七十七錢の激增である而して枚數の多きは大阪、東京、横濱の順位なるが一枚當り金額の多きは名古屋が第一にして横濱之れに次げり即ち內譯を示せば左の如し

交換所	枚數	金額
大阪	[illegible]	[illegible]
東京	[illegible]	[illegible]
横濱	[illegible]	[illegible]
京都	[illegible]	[illegible]
神戸	[illegible]	[illegible]
名古屋	[illegible]	[illegible]
廣島	[illegible]	[illegible]
下關	[illegible]	[illegible]
金澤	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]
前月との比較	[illegible]	[illegible]
一月以降累計	[illegible]	[illegible]
前年一月以降累計	[illegible]	[illegible]

人事消息

▲宮谷新任第四師團經理部長 十二日龍山着任の豫定

▲西田大佐(軍司令部附) 十日朝龍山著任の筈

▲山本領氏(鐵道技師) 九日夜入城[illegible]

▲清田雅齊氏(三井社員) 同上

▲兵頭武吉氏(黃海道技師) 同巴城館へ

烏瞰錄

今日は陸軍の記念日である即ち日露戰爭の奉天決戰の記念日である▲月日の經つのは早いもので最う十四年の昔になつた云はゞ一と昔である▲今度の歐洲大戰に比するとそれは比べものにはならぬが兎も角も日露戰爭以前には彼れ丈けの進步した大戰爭はなかつた▲であるから世界の戰史にも特記されてある▲日露戰爭も段々進んで明治三十八年の今月今日我軍の戰線を居た丈け世界の軍界は何れも同戰爭には多大の注意を惹いて居た▲それでは愈々完成し戰機徐々熟して奉天城を指して進擊した▲野津將軍の第四軍が中央黑木將軍の第一軍が右翼川村將軍の鴨綠江軍が最右翼奧將軍の第二軍が左翼乃木將軍の第三軍が最左翼總司令官は大山將軍總參謀長が兒玉將軍で日本の將星何れも駒を陣頭に進める▲我軍は步兵二十萬騎砲工輜重を合して十五萬總軍三十五萬に大砲千門▲露軍の實力は步兵三十萬騎兵二萬六千砲兵三萬四千大砲千三百六十八門非戰鬪員を加ふると總軍五十萬之れを四軍に分つて總司令官はクロパトキン▲もとより兩軍の勝敗は此の一擧に決せらる大戰五日に涉る苦鬪の結果露軍の大敗亡▲ナヒモフ少將以下約四萬は捕虜となり遺棄せられた死屍は二萬六千五百其他の死傷九萬合せて約十六萬▲我軍の死傷も亦約四萬事實世界戰史に新記錄を止めた大激戰であつた▲今思ふと左程でもないが實際の當時の日本は何うであつた國民は此の勝報を得て實に欣喜雀躍手の舞ひ足の踏む處を知らなかつた▲此一戰で愈々日鮮の平和は確保せられ吾人同祖同族が今日の親和を見る事が出來た今日の記念日は吾人特に思ひ出の多い記念日である▲記念日と云へば支那でも今日は故袁世凱君が中華民國臨時大總統になつた記念日である▲大いに記念してやりなさい何なら民國製造者の大總統就任記念日に南北和平もシヤン〳〵と手を拍つては何うだらう

祝陸軍記念日 龍山驛前 獨立軒寫眞館

祝陸軍記念日 陸軍用達菓子商 龍山漢江通電話三二一番 石見堂

祝陸軍記念日 陸軍用達業 龍山漢江通電話二四番 奧山龍太郎

祝陸軍記念日 人夫請負業 陸軍用達業 龍山漢江通電話六四八番 金川商會

祝陸軍記念日 兵用圖書各種 印刷用達業 龍山漢江通電話三三 井上欣治

祝陸軍記念日 東京齒科醫學士 新龍山齒科醫院 廣瀨文質 新龍山三角地

祝陸軍記念日 龍山驛前 山崎寫眞館 電話六一六番

祝陸軍記念日 陸軍用達書籍文具 廣島屋號支店 龍山漢江通七番地 電話四三九番

祝陸軍記念日 京城府漢江通十三番地 寶榮商會用達部 電話一〇七番 電略(ホ)又ハ(ホヨ)

祝陸軍記念日 龍山元町二丁目 龍山精米所 執行猪太郎 電話三六番

祝陸軍記念日 精米機製繩機 精米宇治茶 石原商會 石原磯次郎 電話八〇〇番

祝陸軍記念日 龍山水產株式會社 電話一一五番

祝陸軍記念日 龍山停車場前 太陽館本店 電話一六番

祝陸軍記念日 和洋紙 印刷製本 京城長谷川町七四 近澤洋紙店 電話長二七五番 電話二九四一番 振替京城二三五三番

祝陸軍記念日 龍山漢江通一ノ三 大和社運送部 大和與次郎 支店 平壤驛

洋酒 食料品 罐詰
歐米ノ新輸入品續々入荷致候ニ付多少ニ不拘御用命被仰付度奉願候
大日本麥酒株式會社專屬販賣店 帝國鑛泉株式會社專屬販賣店 鑑印及人形印煉乳特約店 金線印煉乳關西發賣元 ラッパ印煉乳發賣元 三矢ポートワキン發賣元
直輸出入商 神戸市元町通四丁目 吉川商店

祝陸軍記念日 十八銀行新龍山支店

祝陸軍記念日
京城本町一丁目(電話長一一番) 株式會社第一銀行京城支店
京城本町一丁目(電話長五八番) 株式會社百三十銀行京城支店
京城黃金町二丁目(電話長四一〇番) 株式會社十八銀行京城支店
京城南大門通一丁目(電話五五八番) 株式會社朝鮮商業銀行
京城南大門通一丁目(電話長一八九五番) 株式會社韓一銀行
京城南大門通一丁目(電話長一八六一番) 株式會社漢城銀行
京城本町一丁目(電話四三一番) 株式會社京城銀行

祝陸軍記念日 龍山驛前 東亞蠶絲株式會社京城支店 電話長一三五番

祝陸軍記念日 本社 大連市山縣通 大連汽船株式會社
出張所 安東縣出張所 天津出張所 青島出張所 神戸出張所
代理店 旅順、龍口、芝罘、神戸播磨町一六、鎭子窩、上海
大連安東線 每月六回 大連青島線 每月五回 大連上海線 每月五回 大連龍口線 每月六回 大連鎭子窩線 每月十回 大連柳樹屯線 每月三回

祝陸軍記念日 京城電氣株式會社

なり資本金一千萬圓を以て[illegible]
ネラル、ケモカル會社の發明に係
る（獨逸のハーバー法を改良した
る方式）窒素固定に依り
[illegible]技術家を派遣し調査したる結
果大時試驗の成績を擧ぐべしとの
見定め付きたるも尙ほ其後の經過
に就き再應調査するの必要あれば
[illegible]
次第之を我關係者に通知すると同
時に會社の創立に着手する段取
を定め居れり又其株式は發起人大
[illegible]第一工場を別子銅山附近に置き年
額二萬噸の硫安を製造し其結果に
依り更に五百萬圓を增資して第二
[illegible]に近き將來に於て一般市場に影響
を與ふる程度に至はらざるならん（東京）
[illegible]輸入せ
又外國よりも百圓内外にて輸入せ
らる可しとの報あり斯の如く外國
多からざるやの疑問もあり又投物
も一段落を告げたる事とて昨今大
品百五六十圓見當に落付ける模樣
然の相場に在れば昨今神戸に現は
れ居る三圓五十錢と云ふ極端なる
投物類が一巡し終るに於て或は幾
[illegible]
[illegible]し一棟三戸を全燒して同七時鎭火せり損害約二百圓

◎浮塵子の如き敵陣に突入して
壯烈なる白兵戰を演ず
全滅せる田中大隊の苦戰

ユフタ附近に於ける田中大隊の戰鬪狀況八日左の通り陸軍省より公表せられたり

田中步兵少佐（勝輔）指揮の第七十二聯隊第三大隊は山田枝隊增援の爲め二十四日朝ポチカレオに著するやユフタに前進し敵の背後を衝くべき命を受け森山中尉を途中に一小隊と共に殘し同日夕ユフタに著す、二十五日朝田中少佐は香田少尉の一小隊をスクラムレフスコエ方面に派遣し偵察せしめたるに敵兵同村を占領し居り同小尉等の到着を見るや兵を增加し兩翼より包圍し同小隊は勇戰奮鬪大いに努めしも重圍に陷り小隊長以下皆戰死し負傷者四名歸還せるのみ田中少佐は此悲報を聞き大隊を率ゐ其地に向はんとし途中チユイノフカ西方約一里の森林内に於て敵に會し是亦全く包圍され苦戰奮鬪浮塵子の如き大軍中に突入白兵戰を演じたるも衆寡敵せず全大隊悉く戰死し敵の心膽を寒からしめたり同日アレキセフスクに在りし西川大尉は野砲兵第五中隊步兵の一小隊を指揮し田中大隊應援の爲前進中優勢なる敵に會し砲擊を開始せるが敵兵益增加し小隊長森山少尉は率先敵陣地に突擊し奮戰格鬪したるが悉く戰死し生存者は僅に負傷兵五名のみ是又我死傷は步兵少佐田中勝輔、同大尉松原弘、同佐々木顯析、同中尉松島哲爾、同林信一、同森山俊秀、同少尉幸田隆、同長野正盛及び砲兵大尉西川達次郎、一等主計竹本源一外特務曹長一下士以下二百九十名、通譯一名、負傷九名にして敵の死傷は不明なるも遺棄せる屍體のみにて約四百に達せり（東京電）

◎遲延する外國電報
線の不足が原因
通信數の增加と

從來日本から外國へ打つ電報は歐洲へは印度、蘇士經由線西伯利經由線と米國經由線の三本があり、米國へは小笠原からホノルルを經由する唯一のものがあつたゞけ、戰爭前でも相當に

◇輻輳して　居た然るに歐洲の戰亂が起つてからは西伯利經由の歐洲線は全然駄目になり最近米國線にもガム島とホノルル間に故障が出來て不通になつたりできなどに事件の多い外國電報は非今大混亂を呈し居る、即ち現今個人の電報でも新聞電報でも甚だしく遲延するのは

◇通信數の　多いのに反して線が足らなくなつた爲めであるが之に就いて遞信省の渡邊外信課長は語る『外國電報は年々增す計りで大正二年には五十二萬通の四百七十萬語大正三年は五十萬通の五百八十萬語大正六年は百二十七萬通の二千百萬語と云ふ割に增加して居る昨今の電報遲延は全く

◇線の不足　と通信數の多くなつた爲めで假へば巴里から日本へ打つ時都合よく行けば三時間位で來り普通でも十七八時間で來なければならぬのである、然るに新聞の電報欄を見るに百七八十時間から二百五六十時間もか〻つて居る、一體外電には官報と私報とあつて官報は絕對に

◇優先權を　持つて居るもので私報は山と積まれてあつても官報が出た時は之に打つ事になつて居る、だから外務省へ來る官報は十六七時間で來り新聞社へは二百時間もか〻るのであるこれは非立憲の樣だが萬國電信條約に依つて定められ居るから止むを得ない外國電報用語は各國共大概

◇英佛の語　を用ひて居るが日本語を用ひるのは露國だけで獨國の如きは日本との電報は一切取扱はぬと規定して居る外電一語を打つには歐洲は一圓九十六錢、米國の太平洋岸は二圓四十五錢、大西洋岸は二圓六十七錢でそれが折角高い電報料を拂つてもこれだけ遲くては實に氣の毒であるが目下の所止むを得ない』（東京）

摘み草　この頃の郊外

◎五六十の小勢で三千の敵を擊攘
痛快だつた十四年前の想出
朝鮮軍參謀長　大野豐四少將談

想ひ起す日露の役三月十日は奉天陷落と云ふ我陸軍は云ふに及ばず一般國民の最も記念すべき戰捷の日である當時吾輩は川村大將の率ゐる鴨綠江軍の軍司令部に從つて居たが奉天會戰の

▲火蓋を切　つたのは鴨綠江軍が激戰を續けて全滅した第十一師團の殘部隊を以て淸河城の敵軍に向つて猛烈に攻擊を始めたのに始まるのだ、それは恰ど、四の兩日に亘つた大激戰だつた度寒風吹き荒ぶ二月の下旬即ち廿三、四の兩日に亘つた大激戰だつた忠勇無雙の我軍は突貫又突貫を遂行した結果敵は

▲遂に潰亂　し城を捨て退却した是れが即ち奉天城陷落の前兆だつたのだそれから間もなく三月十日の總攻擊に依つて難攻不落と云はれた奉天城の陷落を見た譯である鴨綠江軍はそれより方向を轉じて馬金丹に向つた此時も却々の

▲大激戰で　僅五六十人の兵隊を以て三千の敵兵を見事追つ拂つたのは實に痛快だつた、さうだ其時の戰ひだ勇猛無比と云はれた前田少將が名譽の戰死を遂げたのは……（參謀は暫時瞑目して當時を追想した後又語を續けて）當時我軍は絕對退却知らずの攻擊ばかり執つたものだ

▲忠君愛國　に固まつた戎兵は敵が何萬あらうが其樣な事は眼中になく唯だ進め〱の一點張りで何時も攻擊の立場にあつた、さうして終に最後の勝利を得たのだ吾輩は此の永久に記念すべき三月十日を迎へて感慨胸に迫るを覺ゆると同時に多くの貴い

▲犧牲者に　對して深く感謝の意を表せざるを得ないさうして將來共に一層忠君愛國の觀念を熾烈ならしめん事を祈つて止まない又此記念日は陸軍の記念日であると同時に國民一般の記念すべき日であるから國民としても當時を追想して大いに祝して貰はねばならぬ

▼敵を苦しめた沙塵
目醒ましい第三軍の行動
奉天守備隊長　松本中佐談

奉天の大會戰は兵力の多寡、武器の精練と云ふ方面からのみ見たならば露軍は遙に我軍の上にあつたかも知れない否確かに上だつたのであるが其士氣所謂

△攻擊精神　に於ては日露お話にならぬものであつた、殊に我軍には旅順の堅壘を陷れた勇猛無比の第三軍が來たので彼我の士氣は一段の差を認められた、敵將クロバトキン將軍は此の第三軍の向ふ所にと思つて手中に掌握して居た多大の豫備隊の使用を誤りたる上三月九日から

△猛烈な風　が沙塵を卷いて敵に向つて吹き付けたものだから堪まらない、此の日から敵は退却を始め十日には第一軍第四軍が縱々として奉天に乘込み遂に捕虜の許りでも約三萬と云ふ多數を算するに至つたのである、此の時第三軍の行動と云ふものは

△實に目醒　ましいもので恰も無人の境を行くが如く敵の右翼を迂回し奉天は鴨綠江軍との間にあつて殆んど袋の中の鼠同樣になつて仕舞つた、更に飛行機が出來潛水艇が出來た爲めに戰爭の仕方も其當時に比すれば

△大に進步　し變化して來ただらうと云ふものもあるが戰鬪に對する原則と云ふものは絕對に變化するものではないと思ふ、唯武器の進步に伴ひ國家は益精兵主義を執らねばならぬと共に大いに攻擊精神を養はねばならぬ殊に此攻擊精神は國家が存在して行く限り

△最も必要　なものである即ち此の精神が隨所に隨時に現はれて國家の隆昌は見られ國運の發展は期せられるのである（奉天）

◎各學校で軍事講話
龍山から將校派遣

十日は陸軍記念日に付龍山第十九師團司令部及び第四十旅團司令部分會にては部内將校を左記各學校在鄕軍人分會に派遣し午前九時より行はる軍事講話を爲さしむべし

場所	講演者
▲水原尋常小學校	足立大尉
▲淸州尋常小學校	眞山大尉
▲京城中學校	山本少佐
▲櫻井尋常小學校	鳥野大尉
▲龍山尋常小學校	佐々大尉
▲同元町尋常小學校	同
▲京城女子技藝學校	一國少佐
	結城大尉
▲光州尋常小學校	小田少佐
▲群山在鄕軍人分會	寺木中尉
▲江景同	西少佐
▲全州尋常小學校	樋口大尉
▲釜山小學校	松山大尉
▲日出小學校	栗原中佐
▲仁川高女校	土倉少佐
▲同高等專修學校	同
▲同尋常小學校	同
▲鎭南浦高女校	高橋少佐
▲同尋常小學校	同
▲[illegible]浦尋常小學校	上坂少佐
▲元山尋常小學校	森永少佐
▲龍山中學校	澁戸中佐
▲京城高女校	佐々木少佐
▲南大門小學校	長瀨大尉
▲鍾路尋常小學校	疋田少佐
▲西大門小學校	渥美大尉
▲東大門小學校	吉村大尉

◎京中生の實彈射擊
非常な好成績

今春卒業する京城中學の五年生は敎官岡村大尉指揮の下に八日正午より龍山射擊場に於て實彈射擊を試みた此日夜來の細雨未だ歇まず雲低く南山を覆ひ照準稍困難な狀態であつたが是より先第七十八聯隊の佐々木少佐は崎山大尉以下を指揮して

◇臨的壕　及び射場の設備を整へて異れた二百米突の彼方に十個的を置き、姿勢は依托伏姿勢射擊彈を五發と定め用意全くなるや生徒は學校備へ付けの卅年式步兵銃を手にして覘ひ定めてポン〱と擊ち出す銃聲は山に谺して恰も

◇演習を　見る樣であつた斯くて午後四時生徒の射擊は終了したが其成績は

四十點小川▲卅八點德永▲同點柴田▲卅七點梅村▲同點新谷▲卅六點佐々木▲卅四點香山▲卅三點堀頭▲卅二點山崎▲卅一點山口▲卅點瀨川

と云ふ順で五同卒業生の最高卅四點六同卒業生の同卅八點に較べて今回の最高四十點は非常な

◇好成績　だと岡村敎官は語つて居た午後四時からは敎職員連の射擊があり

卅二點高木▲廿七點岡村▲同點小菅▲同點池田▲廿點原田

と云ふ成績を示したが敎官岡村大尉は本職だけに四十三點と云ふ水際立つた腕前を示して一同をアッと驚かせた右終つて七十八聯隊佐々木少佐の機關銃の說明安野大尉の同銃實彈射擊等があつて歸校したのは午後六時半頃であつた

太平通の火事

◎三島子行葬
十一日執行

七日逝去せる三島彌太郎子の葬儀は十一日午後二時途中葬列を廢し靑山齋場に於て神式を以て行ふことに決定したるが日本銀行は總裁在職中に逝去したるは同氏を嚆矢とするを以て行葬をなすべく初代河田總裁の先例に依るべし（東京特電）

罪の女（上）
自分の娘は藤公の落胤と號して
巧妙な詐欺を働く

藝妓師匠のおかつが仁川に來たのは去年十一月の末頃であつたが春になつても仲町邊に情夫と共に隱す事もなく日を送つて居た仁川に來て以來既に三四箇月を遊び暮して

◇生計に窮した　鷄何女にも似ず巧妙な詐欺を働いて今では仁川警察署の留置場に暗い日を送つて居る、おかつは大阪北區東梅枝町の生れで日高かつと云ひ今年はもう五十一のお婆さんである此のお婆さんが如何して恐ろしい詐欺を働く樣になつたのかと其の種に使つた材料が頗る面白い

おかつには今年二十七になる美しい娘がある芸名を蝶子と云ひ今は大連のある料亭に左褄取つて居るが此の女こそおかつが實の娘で勿體なくも故伊藤博文公の落胤で氣立て萬端優しい事は云ふ迄もなく

◇容姿殊に勝れ　華やかに歲でこそ二十七とは云ふもの、まだ人目には二十歲を過ぎた許りとしか見ねないとか、そして伊藤公の落胤とは夢にも知らぬ娘の寫眞を突き附けての相談ならばまだしも途方もない美人詐僞の筆書を持出して之れが私の娘で御座いお氣に召したならお抱へ下さいと詐僞作つての掛引宜しく巧く圓め込んでやれ旅費だ準備金だと出させたのが淺間で五十圓、奴等や四十圓外に宮町の上村下駄屋に如何した都合で懇意になつたか

◇娘を敷島へ賣　るからと云つては前後六七回に亘つて百四十圓都合二百三十圓の前金を卷き上げた、扨て之れには誰か黑幕が無くてはならぬが抑も大連に居ると云ふ蝶子は果して伊藤公の落胤であるか否かそれには歷乎とした證據のお墨附があり福島大將も御存じで御座ると故將軍を證人呼ばはりするはおかつ本人の言ふことでなか〳〵さうとは受け取れない事實がある

◎職に殉じた分隊長
劍道の達人

咸興騷擾の際重傷を受け終に逝去したる正池中尉は元來錬士にして劍道に達して居る然れば騷擾の際にも自ら進んで危地に入り幾回か群衆を解散せしめて居るが暴徒の爲に大斧で背部から下を切斷されたのである氏は味方の士氣の沮喪せん事を慮て負傷は輕微なり進んで群衆を解散せしめよと叱咤して出血夥しく終に無眼の恨みを呑んで斃れた痛ましくも亦氣の毒な話である

◎百餘名を監獄へ
其後の大邱

大邱其後の狀態は官憲の警戒嚴重なる爲め八日夜は無事經過したるも彼等不逞の徒は尙再起せんとしつゝあるもの如し檢擧したる犯人中百餘名は覆審地方法院より上段尾の兩檢事大邱署に出張し徹宵取調べたる上九日朝より自動車にて續々監獄に收容し居れり當局は尙引き續き嫌疑者拘引中なるが道内各地方は極めて平穩なり（大邱特電）

◎沈沒汽船發見

昨年五月全北扶安郡界火島附近にて異樣の大砲を發見したることあり其後扶安郡居住柴藤和三郎（五二）は大砲附近には必ず母船沈沒し居るべしと思料し親戚に當る大連居住中川宇重なる潛水業者と共に熱心に其附近搜索中其際和空しからず遂に界火島蝟谷島飛雁島の中間にて千五百餘噸の大型汽船沈沒しあるを發見し船體並に附屬の金屬品等も完備し引揚の見込ある由なるが前記大砲が積載したる或は此艦にあらざるやの疑ひあり前記大砲と云ひ今回發見の沈沒船と云ひ兎に角珍らしき發見物たるを失はざるべし

◎線路に石

去る三日午前十時湖南線鎭橋驛を距る北方一哩の地點鐵道線路上に兩拳大の石塊數十個を山積しあるを發見し大騷ぎとなれるが右は咸平郡鎭橋面四街里の李敎相（三十）同沈英大（一四）二名の惡戲と知れ直ちに引致されたり

◎寶生會　京城寶生會謠曲會は十一日午後六時より京城俱樂部に於て第十回例會を開く番組左の如し
▲芦苅　シテ岡田氏ワキ岡田氏ツレ上田氏▲朝長　シテ井上氏ワキ中村氏ツレ淺井氏ツレ福山氏▲景淸　シテ山口氏柳村氏トモ淺井氏ワキ久留氏▲熊野　シテ川崎氏ツレ川津氏トモ一川氏ワキ谷村氏▲天鼓　シテ木賀氏ワキ上村氏

演藝
▲乃木大將實傳

大正館にては十一日から乃木大將實傳を封切上場する筈なるが本寫眞は日活會社が將軍自刄七周年に記念すべく隱れたる事蹟を拾ひ幾多の困難を排し苦心を費して前後七ヶ月にして漸く完成したるものにして端を西南の役に起し自刄に終るまで全廿八場三軍を叱咤する陣頭の鬼將軍乃木希典が時々に惱ましき農事を營む好々爺となり一個の父として從來上場のものとは全然其の撰を異にすと稱し俳優は外人も出演し七少年と出演する等なるが本寫眞は同社の特作品にして子を持つ人も持たざる人も俱に味ふべき深刻なる數劇なりと

菊苗
他に類なき珍種無數有高評續々たり
之が頒布に當て責任を以す
培養法名鑑附
往復ハガキ申込
大阪天下茶屋局内寶子園菊苗部

祝陸軍記念日
專賣特許宮崎式ペーチカ築設
土木建築請負業
龍山　宮崎組事務所
組主　宮崎吉太郎
龍山漢江通八番地
電話八四二番

祝陸軍記念日
京城岡崎町
㊝三幸洋行
電話長二八〇〇番

祝陸軍記念日
京城岡崎町
㊝須川材木店
電話龍山四三四番

謹近火御見舞
京城太平町二丁目
加藤紅葉湯

京城鍾路一丁目
東洋生命保險株式會社
京城支店
電話長六五一番

ホーオーミルクを
乳兒の健康は補乳にあり
品質優秀の定評ある
御愛用あれ
發賣元　明治屋京城支店
京城本町二丁目

祝陸軍記念日
京城黃金町一丁目
不二興業株式會社

祝陸軍記念日
品質本位
みやこ味噌
京城岡崎町
電九〇三・二三〇
島屋本店味噌部

品質第一
銘酒瓶詰之一大權威
全道各地之需要激增

大阪府堺町
宅合名會社
攝津灘工場吟醸

母と子 (百廿七)

北島春石作 森田久畫

決心 (一)

關釜連絡船新羅丸を降りて、下關驛より直ちに東京行急行列車に乘込んだ神崎昇一郎は、長い旅の疲勞を休める隙もなく、翌々日の午後二時四十五分に東京驛に落いた。

古瀬の案內で茂朱邑內まで乘込みながら、龍潭鑛山ゆきを見合せ、その日のうちに永同驛まで引返し直ちに電報を打ちしのみならず、名古屋驛を通過する際も重ねて電報を打つたので、母の幹尾が出迎ひに來てゐる筈と、改札口をあとにした昇一郎が廣い構內の隅々までも眼を走らせ乍ら折から忙しげに步み寄つた一人の老女。

『おゝ、今お歸りかね。』

『あ、お母さん。』

お互に聲を掛合つて、親子は何となく不安に滿た顏を見合せた。

稍暫くしてから『電報は二通とも御覽になつたでせうな。』

『それを見たればこそ、わたしは嫁も連れずに、たつた一人で出迎ひに來ましたよ。』

『すると、志保子はもう中洲の實家へお歸し下すつたでせうな。』

『いゝえ、誰があんな可愛い嫁を離緣しませうか。』

志保子には極めて優しい姑なれど幹尾は伜の昇一郎に對しては世間並の母に較べて寧ろ嚴格すぎる程にも思はれた。

『昇一郎!』と、これも又嚴しく、てから呼びかけた『お前は……お前はあの電報を眞面目でお打ちなのかね。』

『無論です、今度都合があつて、志保子を離別しようと決心したですから。』

『では、別に氣が狂つた譯でもないのかね。』

『はゝ、お母さんには僕が發狂したと思はれたですか。』

『わたしはお前が大嫌ひだから自分の感じた事をツバ〳〵言ひますがね。確かにお前が發狂したと思ひましたよ。』

『發狂!!』と、昇一郎は忌々しげに肩を揺り上げて『僕が發狂されたらどんなに幸福だらう。』

『何とお言ひだね。』

『お母さん……』と、更に冷い口調で『貴女はあの志保子を何うお思ひですか。』

『志保子は珍らしいほど上出來の嫁です。お前にこんな事を言ふと決していゝ心持はしないと思つたゆゑ、今までは滅多な口も利かずに濟ましたが、あの高松さんだけは何うも氣に入らない……けれども高松さんの娘とは思はれないまでに、志保子は世にも美しい心の女です。あれをお前の嫁にし、わたしも又姑として傅かれるのは、神崎の家のためにどれ程の幸福か知れない……それだのに、何う云ふ事情とも知らさず、だしぬけに、電報で離緣しろとは何事です。われ昇一郎、この親がお前を發狂と疑つたのは無理ではありますまい。』

『そ、それこそお母さんまでが、あの毒婦に欺かれて被在るんだ。』

『ら―あの志保子が毒婦とは。』

『さうです!』と強く頷いた『最初は僕とても志保子を信じてゐました。初婚にしては些と年齡をとりすぎては居れど、それも却つて思想が堅固でよからうと、お母さんも再三御賛成をいたした結果つひに結婚をすることに。』

『だから、それでお前に故障はなからうと思ひますね。』

『こゝろか、志保子は新婚者でなかつたのです。』

『では、お前の妻となる前に、どこぞへ緣付きでもしてゐましたか。』

『その前夫を岸上雅巳と云つて、夫婦の仲には幸枝と呼ぶ娘さんもあるんです。』

幹尾は怖ろしい事でも聞かされたやう、見る間に顏色を一變させたが、すぐに氣をとり直して、

『昇一郎!』と改めて呼びかけ『お前は何も藥もないことをお言ひではあるまいね。』

今般東京生そば松葉を譲受け候に付御披露として三月八日より向ふ三日間特に貳割引可仕候
京城明治町二丁目電話八三八番
松葉

鷄卵は 斯うして食べよ 病人には黄味

滋養的食物と云ふと誰でも直ぐ鷄卵と牛乳に指を折りますが、鷄卵は滋養分があつても、其の用る方を誤ると、却つて害がありますから、鷄卵に就いて少しお話致しませう。

▽消化 が良くないと云ふ事は近頃大分人が注意するやうになりましたが何故消化が悪いかと云ひますと生鷄卵を食ますと其の鷄卵は胃液の爲に固く凝固して丁度うで卵のやうに一旦なるので、それで之を消化させるには胃が非常な努力を要する事になるのです、ですから專ら流動物をのみ

▽食用 に供さなければならぬ腸胃患者就中窒扶斯患者などには絕對に生鷄卵は禁物です、それなら何うして食たら良いかと云ふと、半熟にするに限ります、半熟卵は胃に入ると一時間半で全く消化しますが卵黄湯、卵白湯は二時間半かゝり、卵燒が三時間、鯣卵が三時間と十五分、卵酒が三時間半で、それで生卵は二時間卅分です、これを見ても半熟の鷄卵が良い事が分ります、それから又注意すべきは黄味と白味で

▽黄味 は胃中に入つて胃液に逢つても中々凝固するやうな事はありませんが白味は胃液に逢ふと忽ち凝固して了ひますから病人には黄味だけの半熟を與へるに限ります、半熟卵と共に稱用すべきは葛湯か重湯或は粥の中へ生卵を入れ能く攪拌して食する事です、斯くすると

▽鷄卵 は是等食物中の微細な澱粉と混和して早く半熟狀、細末狀となつて凝固するので之れが胃中に入つてから更に相集まつて大きな塊となるやうな事はありませんから非常に食料として能いのです

◎木の芽季は 眼病が多い 其豫防と手當

春先から初夏へかけて毎年眼を病む人が多くなる、是からが最も注意すべき時期である、患者の一番多いのがトラホームと血膜疾患の二種である、トラホームの豫防に就いては今更事新しく言ふまでもなく既に一般に知れ渡つてゐることであるが、それにも拘らず患者は少しも減じない、夫は矢張罹病時に

◇不注意 をするからである第一の豫防としては何よりもトラホーム患者に接しないこと、家庭に於ても此の患者が若し出來たら洗面器とか手拭とか云ふ樣なものは一切別にして他の人はそれを使はないやうにすることであります、血膜患者も矢張同樣なことで何よりも先に手足を常に清潔にし外から歸つて來た時には必ず先づ手を石鹸で綺麗に洗つてから

◇硼酸水 か清水で眼を洗ふことを怠つてはならない、昨今の樣な風の吹く日などに外出した時は猶更である、四五月になると燥い天氣が多くなるのだから怠うしても之を缺かさず行ふに限る

牛乳 朝鮮總督府病院御用
岡野牧場 京城東四軒町 電話一六〇九番

日報柳壇

歌がるた

我戀を聞かぬ程の蟬の讀み　沈澱子
貝ならぬ身で嫂は讀人なり　同
讀の句が出ると目と目で物を云ひ　同
御手附の苦情は讀んだ方が勝ち　笑城
姑に勝利を讓る歌がるた　同
戀人に勝を讓つて汗をかき　同
歌がるた搔揚られる色男　一花
手の甲の其爪の痕接吻する　笠坊
來ぬ人を待つ間が長い歌がるた　菁論坊
指先で火花をちらすかるた會　しげる

比翼塚

山蔭籠で一服つける比翼塚　烏石
比翼塚閻魔の廳で許されず　同
鯱子には何本も要る比翼塚　若佃
佐川姫の時代には無い比翼塚　同
小紫今しいと須磨子云ひ　如風
比翼塚道樂者の成れのはて　同
比翼塚春から夏の溫か味　丙美坊
熱のある祭文を讀む比翼塚　同
吹がらを女將がはたく比翼塚　十呂的
お前となら死にたい比翼塚　同

讀者の領分

▲近頃京城へ來る婦人の中には大分不埒な奴が多い、中には[illegible]の名を詐稱して來るものさへある(江戸ッ子)▲京城で[illegible](何要生)▲京釜線の鳥致院は今度忠南道の[illegible]道が來て[illegible]▲[illegible](寄稿)

朝鮮に於ける 保險料は全部朝鮮銀行に預入れ以て地方產業の開發に貢獻す
常磐生命保險會社 朝鮮支部 代理店 全國各地に有り

最新刊
▲國民の基礎 定價一圓 送料八錢
▲家庭園藝十二ヶ月
大正八年朝鮮事情要覽
▲書翰文規範及文例 定價八十五錢送料八錢
大阪屋號 東京本郷 電話(六)四番 振替京城二五七三番

京日案內
◎銅材木賣却 約二萬才 但し立木の儘 元山本町三丁目 藤井商店
◎不動產賣買及擔保貸借紹介◎不動產管理受託◎諸新聞販賣並金融 京城旭町信託業 小林 電一八九六
普通七一回前金、番外一回前金
▲申込は中後迄揭載中止の節は料金不返 ▲六回以上の御申込は特に豊別引のこと ▲非照會は返信料にあらざれば回答せず

男女店員募集 數名 尋常小學卒業以上にして廿五歲以下希望者履歷書持參 京城南大門通二丁目(電話三九九番) 羅紗商
看護婦及見習入用 希望者至急面談
シメノウチ 齒科醫院
小供二、三名 女中一名入用 京城旭町一丁目(電話二千百八番) 中島印刷所
女事務員廿五歲迄 給仕十八歲迄 採用 事務員は女學校卒業程度 給仕は小學校卒業程度 履歷書持參本人來 株式會社
古ミシン高價買入 電話又ハガキ御一報次第參上 京城鍾路二ノ二七 電話一三三八番 楠商店
恩給立替 金は前書引換に御渡し致します 地方は規定書送呈す 京城府若草町 電話三〇〇番 西村商會
◉ほねつぎ 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場
店員二名入用 運送業に熟練者 保證人二名を要す本人來談午前中に 京城古市町 電話六七一四 近藤運送店
ゴム玩具大賣出 定價表御入用の方へは無料郵送 京城太平通二 電話六六二 太陽商會
外交員招聘 良家番營希望者は履歷書持參午前中來店 京城黃金町一ノ八 帝國生命保險株式會社支店
毛皮なめし仕立 萬歐獸皮類製標本類調製鳥類剝製 京城本町二 電話長二〇六五番 商行

◎經育經濟狀況
▼貸出增加高
▼金融は保合 一般の金融は緩慢なるも增出額は[illegible]
▼鐵其他不振
▼證券案商況
◎外米輸入高 計は二百卅一萬三千八百四十五石なりと(東京)

春先きのお化粧

自然で美くしい レート白粉

「日常家庭での身嗜みにレート水白粉こそ上品で わざとらしくなく美くしうムいます……」

化粧標語 化粧は女の生命なり

この季節の お化粧法三つ

愈々お化粧が美くしく出來る
季節となつてまゐりました。この時こそ充分化と爭ふ美を發揮せねばなりません。そして『成る程レート白粉は美くしいお化粧が出來る』と、皆樣から御賞讚を給はる時となつたのでムいます。先づ濃化粧には、どうしてもレートの煉白粉を、頸筋を濃い目に附け、お顏は鼻から外へボカスやうに塗つて下されば美くしいお化粧が出來ます。脂肪の多い方はレート乳白化粧水を附けてから煉白粉を附けて下さると一層綺麗で其上へ、レート粉おしろいで粉刷きをして置けば浮き出たやうな美人となられる事はお請合いたします。

おぼろに霞む 月の如に瀟洒な
淡化粧は、レート水白粉のお化粧です。レート水白粉は自然にホンノリと白さが浮き出ますから、其上上品で美くしい事は、品格を高めて眞に淑女化粧として一點の批難もムいません。これにはレートチエリーを下地に引いて下さると一層際立つてお美くしうムいます

お急ぎの節に お手輕に出來て
そして充分美くしいお化粧が出來るのはレート粉おしろいで、これはクレームレートを下地に引いて頂き一たん之れを拭き取つてから粉刷きをして頂くと、たゞそれだけの手間で不思議な程美くしいお化粧が出來ます。この方法は今專ら流行してゐる化粧法で、三顏で常に實驗されて居ります。尚外出の時にはお顏直しとして、レート紙白粉か、レート打おしろいを御攜帶になると便利でムいます。

本舗 東京 大阪 平尾贊平商店

胃が強壯であれば人間の病氣の百分の九十を豫防する事が出來るとは一般醫學者の定說であつて博士ボアース氏は胃病は、萬病の本なりと言はれたのは當然である、ソレ故に諸君が

ハテ胃が惡い と氣附かれた時は後と言はず、直ぐにソレ此れ

胃病良藥

胃活を御用ひあれ、胃活は五大軍醫の合議製劑でありますが、時勢の進むと共に方劑も改正の結果

帖佐醫學博士が配劑宜しきを得胃の諸症に對して、顯著なる効能ありと推奨されたのです

定價胃活壹圓、五十錢、卅錢、十五錢、胃活錠貳圓、五十錢、廿錢 全國各藥店にあり
本舗 東京日本橋本銀町 山田安民藥房 大阪南久寶寺町二 山田安民藥房

營業案內進呈種苗の部と農器の部とあり御入用の分を差上ます
種苗 農具 蠶具 肥料
諸官廳御用達 京城本町三丁目 京城勸農園 電話七〇四番 振替口座京城五六〇番